

Husqvarna®



542i XP®, 542i XP® G

JA 取扱説明書 2-38

目次

はじめに....2
安全性....4
組み立て....12
動作....13
メンテナンス....24
トラブルシューティング....33
搬送、保管、廃棄....34
主要諸元....35
アクセサリー....36
適合と認定....38

はじめに

製品の説明

Husqvarna 542i XP® は電動モーターを搭載した、森林作業用のバッテリー式チェンソーです。

継続的な製品開発の一環として、本製品の設計や外見などを予告なく変更することがあります。

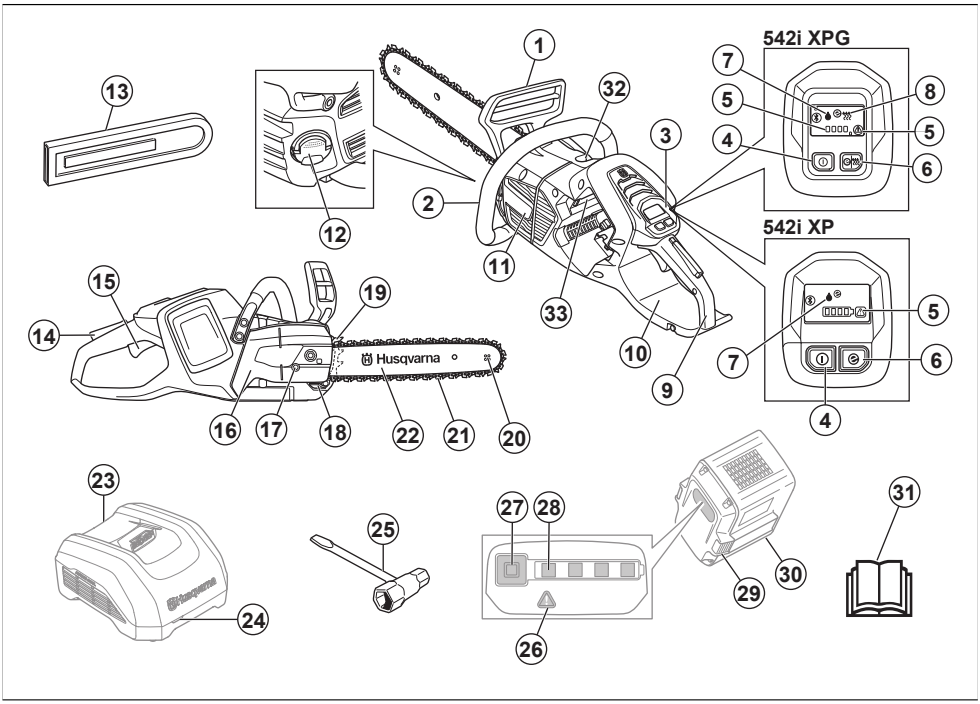
用途

このチェンソーは、伐倒、枝払い、玉切りなどの森林作業用に設計されています。他の作業に本製品を使用しないでください。

注記： 使用には、国や地方により、規制が課せられる場合があります。適用される規制を遵守してください。

注記： 本製品には、メーカーが推奨するアクセサリーのみを使用してください。*アクセサリー 36 ページ*を参照してください。

製品の概要



1. フロントハンドガード
2. フロントハンドル
3. ユーザーインターフェイス
4. ON/OFF ボタン

5. 警告インジケータ
6. SavE ボタン
7. オイルレベルインジケータ
8. ハンドル加熱インジケータ
9. 右手ガード付きリヤハンドル
10. 情報と警告デカール
11. ファンハウジング
12. チェンオイルタンク
13. 搬送用カバー
14. パワートリガーロック
15. パワートリガー
16. ドライブスプロケットカバー
17. チェンの張り調整ネジ
18. チェンキャッチャー
19. スパイクバンパー
20. ノーズスプロケット
21. ソーチェン
22. ガイドバー
23. バッテリー充電器（アクセサリー）
24. 充電器の充電およびエラーインジケータ
25. コンビレンチ
26. 警告インジケータ
27. ボタン、バッテリーの状態
28. バッテリーステータス
29. バッテリーリリースボタン
30. バッテリー（アクセサリー）
31. 取扱説明書
32. オイルポンプ調整ネジ
33. 製品および製造番号の付いたプレート

注記： バッテリーとバッテリー充電器の外観はモデルによって異なります。

製品に表記されるシンボルマーク



十分に注意し、本製品を正しく使用してください。本製品により、作業者や周囲にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。



本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、指示内容をよく理解してください。



認証済みの防護ヘルメット、イヤマフ、視覚保護具を着用してください。



本製品は両手で操作してください。



本製品は、該当する EC 指令および規制に準拠しています。



環境への騒音レベルは、EU／英国の指令および規制、ニューサウスウェールズの法規「Protection of the Environment Operations（Noise Control）Regulation 2017」に準拠しています。



警告！ガイドバー先端に物が接触すると、キックバックが発生する可能性があります。これにより、ガイドバーが作業者の方向に弾かれます。重傷や死亡事故の原因となるおそれがあります。



チェンブレーキ、作動（前方）。チェンブレーキ、解除（後方）。



チェン方向インジケータ。



チェンオイル。



この例における推奨カッティング装置：バーの長さ：XX インチ（XX mm）、ノーズスプロケット歯数：X 歯、チェンタイプ：Husqvarna HXX。



定格電圧、V。



直流。



水の飛沫から保護します。



環境マーク。本製品や本製品のパッケージは、一般廃棄物ではありません。電気・電子機器の適切な処理方法でリサイクルしてください。



本製品が *Bluetooth®* ワイヤレステクノロジーに対応していることを示します。製品名のラベルに Bluetooth® マークが表示されています。*Bluetooth® ワイヤレステクノロジー* *14 ページ*を参照してください。

yyyywwxxxxx

シリアル番号は、シリアルプレートまたはレーザー印字に記載されています。**yyyy** は製造年、**ww** は製造週を示します。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／デカールは、一部の市場地域に向けた認定条件を示します。

製品のサイバーセキュリティ脆弱性

潜在的な製品のサイバーセキュリティ脆弱性、不審な動作、セキュリティ関連の懸念、またはインシデントを報告してください。製品のサイバーセキュリティに関する問題の詳細を送信するには、https://cybersecurity.husqvarnagroup.com にアクセスしてください。ハスクバーナの協調的脆弱性開示に関するポリシーは、この Web サイトから入手できます。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。

警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。

注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

機器に関する一般的な安全上の警告

警告： **機器に付属する安全上の警告、注意事項、図、仕様をすべてお読みください。** 下記のすべての指示に従わない場合、感電、火災、重大な人身傷害につながるおそれがあります。

- **すべての警告や指示は、後で参照するために保管してください。**警告における「機器」とは、電源で作動する（コード付）機器またはバッテリー駆動（コードレス）の機器を指します。

作業エリアの安全性

- **作業場所を清潔に、照明を明るく保ってください。**乱雑な、または暗い場所では事故が発生しやすくなります。
- **可燃性の液体や気体、粉塵のある場所など、爆発性雰囲気が発生する場所で本製品を使用しないでください。**機器は、粉塵やガスを発火させる火花を発生することがあります。
- **機器の操作中は子供や周囲の人から十分な距離をとってください。**注意が散漫になると、操作ミスを起こす可能性があります。

電気保安

- **機器のプラグはコンセントに適合している必要があります。決してプラグを改造しないでください。アダプタープラグを、アース付きの（接地された）機器で使用しないでください。**改造されていないプラグおよび型の同じコンセントを使用することで、感電のリスクが低くなります。
- **パイプやラジエータ、レンジ、冷蔵庫など、アースの付いた表面または接地された表面に触れないようにしてください。**身体がアースまたは接地されていると、感電リスクが高くなります。
- **機器を雨露や湿潤な環境にさらさないでください。**機器に水が入ると、感電リスクが高まります。
- **コードを本来の目的以外に使用しないでください。コードを持って機器を移動したり、引っ張ったり、電源を抜いたりしないでください。熱やオイル、とがった先端や可動部品にコードを近づけないでください。**コードが損傷したり絡まると、感電リスクが高くなります。
- **屋外で機器を操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。**屋外での使用に適したコードを使用することで、感電の危険性は少なくなります。
- **湿気のある場所で機器を使用しなければならない場合は、電源を保護するために漏電遮断器（RCD）を使用してください。**RCD の使用により、感電リスクが低下します。

個人の安全

- **機器を使用するときは、十分に気をつけて慎重に行動し、常識に従ってください。疲労時、医薬品やアルコールの影響が残っている状態で機器を使用しないでください。**機器の操作中の一瞬の不注意が重大な人身傷害につながるおそれがあります。
- **身体保護具を使用してください。必ず防護メガネを着用してください。**防塵マスクや滑り止め用の安全靴、ヘルメット、イヤマフなどのプロテクティブ装具を使用すると、負傷の危険性が少なくなります。
- **予期せぬ始動を防止してください。電源やバッテリーパックを接続する場合、または機器を持ち運ぶ場合は、必ずスイッチがオフの位置にあることを確認してください。**スイッチに指を置いて機器を運んだり、機器のスイッチが入った状態で給電したりすると、事故につながります。
- **機器の電源を入れる前に、調整キーやレンチを外してください。**機器の回転部品にレンチやキーが取り付けられたままになっていると、負傷の原因になります。
- **無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。**これにより、想定外の事態でも機器を安定して制御することができます。
- **適切な服装を心がけてください。ゆったりした衣服や装身具を身につけないでください。可動部品に髪の毛や衣服を近づけないでください。**ゆったりした衣服や装身具、長髪は可動部品に絡まるおそれがあります。
- **集塵装置の接続用装備が提供されている場合、それらが接続されて正しく使用されているか確認してください。**集塵装置を使用すると、塵に関連する危険を回避できます。

- **機器を頻繁に使用し慣れることで、安全に無関心になり、安全上の注意事項を無視しないでください。**不注意な行動により、一瞬で重大な人身事故が発生するおそれがあります。

機器の使用と手入れ

- **機器に無理な力を加えないでください。用途に合った適切な機器を使用してください。**適切な機器を使用することで、設計された速度でより良く安全に作業を行えます。
- **スイッチが機能しない場合は機器を使用しないでください。**スイッチで制御できない機器は危険なため、修理する必要があります。
- **機器の調整、アクセサリーの交換、機器の保管時は、電源プラグを外すか、機器からバッテリーパックを取り外してください(着脱可能な場合)。**予防的な安全対策を行うことで、誤って機器を始動させる危険性が低下します。
- **使用していない機器は子供の手の届かない所に保管して、機器や機器の取り扱い方法に詳しくない人が操作しないようにしてください。**不慣れなユーザーが機器を扱うと危険です。
- **機器とアクセサリーをメンテナンスしてください。可動部のズレや固着、部品の破損、その他機器の動作に影響を及ぼす状態がないかを点検します。機器が損傷している場合は、修理してから使用してください。**多くの事故は、機器のメンテナンス不良によって発生します。
- **カッティング装置は鋭利な状態で清潔に保ちます。**正しくメンテナンスされ、鋭利に保たれたカッティング装置は、挟み込みも少なく、制御が容易です。
- **機器、アクセサリー、ビットなどは、作業条件と作業内容を考慮し、取扱説明書に従って使用してください。**想定された用途と異なる作業に機器を使用すると、危険な状況を招くおそれがあります。
- **ハンドル部および保持面は乾燥させて、オイルやグリースが付着しないようにきれいな状態を保ってください。**ハンドルと保持面が滑りやすいと、想定外の状況下で機器の安全な取り扱いや制御ができません。

バッテリー機器の使用と手入れ

- **メーカー指定の充電器のみを使って充電してください。**1種類のバッテリーパックのみに適合する充電器は、それ以外のバッテリーパックの充電で使用した場合、火災を起こす恐れがあります。
- **機器には、指定された専用バッテリーパックのみを使用してください。**それ以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災を招く危険があります。
- **バッテリーパックを使用しないときは、ペーパークリップ、コイン、キー、釘きり、ネジなどの金物、あるいは端子間を短絡するおそれがある他の小さな金物から遠ざけるようにしてください。**バッテリー端子の短絡は、火傷や火災を引き起こす恐れがあります。
- **劣悪な環境では、液体がバッテリーから漏れ出すことがあります。そのような場合、液体には触れないようご注意ください。もし万が一誤って触れてしまった場合、水で洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合、医師の診察を受けてください。**バッテリーから漏れ出した液体は、炎症や火傷を引き起こすことがあります。
- **損傷した、または改造されたバッテリーパックや機器を使用しないでください。**損傷した、または改造されたバッテリーは、予測不可能な挙動を起こし、発火や破裂、障害の原因となる可能性があります。
- **バッテリーパックや機器を裸火や高温にさらさないでください。**火または 130 °C(265 °F)を超える温度環境にさらすと爆発する恐れがあります。
- **すべての充電手順に従ってください。指定された温度範囲外でバッテリーパックまたは機器を充電しないでください。**充電を不適切に行ったり、指定された範囲から外れた温度環境で行ったりした場合、バッテリーの損傷や火災発生の危険の増加につながることがあります。

サービス

- **機器のサービスは、資格のある修理担当者が、同一の交換部品を使用して行ってください。**そうすることで、機器の安全性が維持されます。
- **損傷したバッテリーパックを決して修理しようとしないでください。**バッテリーパックの修理は、製造元または認定サービス代理店しか行えません。

チェンソーに関する一般的な安全上の警告

- **チェンソーの操作中は、体のあらゆる部分をソーチェンから遠ざけるようにしてください。チェンソーを始動する前に、ソーチェンが何にも接触していないことを確認してください。**チェンソーの操作中は、一瞬の不注意が、ソーチェンによる衣服や身体の巻き込み事故につながることがあります。
- **チェンソーを持つときは、必ず右手でリヤハンドルを、左手でフロントハンドルを握ってください。**逆の手でチェンソーを持つと怪我をする危険性が高まるため、この行為は絶対におやめください。
- **ソーチェンは隠れた配線に接触する可能性があるため、絶縁グリップ面だけを掴んでパワーツールを持ってください。**ソーチェンが「通電」している配線に接触することで、チェンソーの露出している金属部分が「通電」状態となることがあり、使用者が感電する危険性があります。
- **防護メガネを着用してください。さらに、聴覚、頭、手、脚と足用の身体保護具の着用を推奨します。**適切な身体保護具を着用することで、飛び散る破片による怪我やソーチェンの接触事故を軽減できます。
- **樹上、梯子の上、屋根の上、その他支えが安定しない状態で、チェンソーを操作しないでください。**このような状態でチェンソーを操作すると、重傷を負うおそれがあります。[1]
- **常に、安定した足場を確保し、しっかりと水平に固定された安全な足場に立ってチェンソーを操作するようにしてください。**滑りやすい足場や不安定な足場では、バランスを保ち、チェンソーを制御するのが難しくなります。
- **張力のかかった枝を払うときは、スプリングバックに注意してください。**木材繊維の張力が解放されたとき、板ばねのようにしなっている枝で使用者が直撃を受けたり、チェンソーが制御不能になって飛ばされたりすることがあります。
- **低木や若木を伐採する際は、細心の注意を払ってください。**細長い形状のものはソーチェンに絡まって、使用者

[1] 特別な切削および作業技術の訓練を受け、(リフトバケット、ロープ、安全ハーネスを使って)適切に固定されている場合、この安全規制から逸脱することができます。

を鞭打つようにぶつかったり、使用者を引っ張ってバランスを崩したりすることがあります。

- **チェンソーのスイッチを切って、体から離した状態で、フロントハンドルを持って運んでください。チェンソーの輸送や保管を行う際は、ガイドバーカバーを常に取り付けてください。**チェンソーを正しく取り扱うことで、動いているソーチェンとの不用意な接触の危険性を減らすことができます。
- **潤滑、チェンの張力調整、およびバーやチェンの交換については、指示に従ってください。**チェンの張り具合や潤滑が不適切であると、チェンが損傷したり、キックバックの危険性が増したりする恐れがあります。
- **樹木や材木のみを切断してください。意図されていない用途にチェンソーを使用しないでください。たとえば、プラスチック、石材、その他木材以外の建材の切断には、チェンソーを使用しないてください。**意図されていない用途にチェンソーを使用すると、危険な状況が生まれることがあります。
- **リスクについて理解し、リスクを回避する方法を理解してから、伐倒を行なってください。**伐倒作業時は、作業者や近くにいる人が重傷を負うおそれがあります。
- **詰まりを取り除く場合や、チェンソーの保管または整備を行う場合は、手順を守ってください。スイッチがオフになっていて、バッテリーパックが取り外されていることを確認します。**詰まった物質を取り除く際、または整備作業中に、チェンソーが予期せず作動すると、重大な人的傷害につながるおそれがあります。
- **専門のトレーニングを受けていないかぎり、樹上でチェンソーを操作しないでください。**適切なトレーニングを受けずに樹上でチェンソーを操作した場合、重大な人的傷害が生じるおそれが高くなります。

キックバックの原因と使用者による防止方法

キックバックは、ガイドバー先端に何かが接触したとき、あるいは、樹木が近づきすぎて、切断中のソーチェンに巻き込まれたときなどに発生します。先端が障害物に触れると、反動の力が突然発生し、ガイドバーが上方向または使用者に向かって勢い良く戻ってきます。ガイドバーの上部に沿ってソーチェンに何かが挟まると、ガイドバーが使用者へ向かって急激に押し戻されます。これらの反動による動作はいずれも、チェンソーの制御を不可能にして、深刻な人的傷害を招くことがあります。チェンソーに搭載されている安全装置を頼り過ぎないようにしてください。チェンソーの使用にあたっては、事故や怪我なく切断作業を行うために、いくつかの段階を踏む必要があります。キックバックは、チェンソーの誤った使用あるいは不適正な操作手順や操作条件などの結果生じるものであり、以下に示す正しい予防措置を講じることで避けることが可能です。

- **親指と他の指で取り囲むようにしっかりとチェンソーのハンドルを握ります。キックバック力に耐えられるように、両手でチェンソーを持ちながら、体と腕の位置を決めてください。**適切な予防措置を講じれば、使用者がキックバックを制御できます。チェンソーを離さないでください。
- **無理な体勢で作業したり、肩の高さよりも上の位置の物体を切断したりしないでください。**こうすることで、先端が偶発的に何かに接触するのを防ぐことができ、不測の事態でもチェンソーを適切に制御することが可能になります。
- **交換用ガイドバーとソーチェンは、ハスクバーナの指定品のみを使用してください。**不適正なガイドバーやソーチェンに交換した場合、チェンの損傷やキックバックが起こることがあります。
- **ソーチェンの目立てやメンテナンスについては、本書の記載にしたがってください。**デプスゲージの高さの減少は、キックバックの増加につながります。

以下の指示は、大切に保管してください。

一般的な安全注意事項

警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

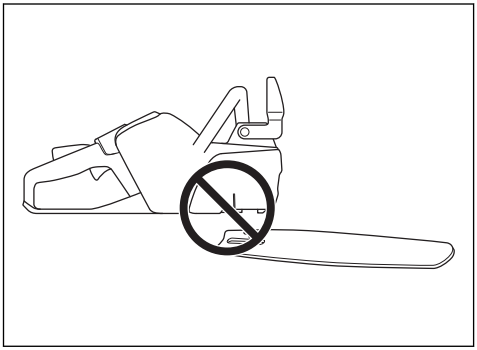
- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。本製品により、操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。
- メーカーの承認なしに本製品を改造しないでください。他者が改造した製品を使用しないでください。また、必ず純正のアクセサリを使用してください。認定されていない改造は、作業者や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- チェンオイルの蒸気や切りくずを長期間吸引していると、健康を害する場合があります。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な重傷や死亡の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。

操作に関する安全注意事項

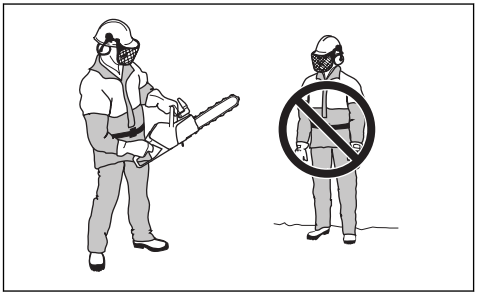
警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書の情報は、専門知識や経験に代わるものではありません。安全ではないと思われる状況では、本製品を停止してください。サービス販売店またはチェンソーの専門家にご相談ください。確信をもてない場合は、作業を行わないでください。
- 本製品の操作について質問がある場合は、サービス販売店または Husqvarna にご相談ください。本製品を効率的かつ安全に操作する方法についてご説明します。可能な場合は、チェンソーの操作方法に関する訓練コースを受講してください。サービス販売店、林業教育機関、図書館などで、訓練や講習に関する資料や情報を提供しています。
- キックバックの影響と防止方法を十分に理解したうえで、本製品を使用してください。*本製品の安全装置 8 ページ*および*キックバックの原因と使用者による防止方法 6 ページ*に記載されている指示を参照してください。
- 本製品、バッテリー、バッテリー充電器に損傷がある場合、正常に動作しない場合は使用しないでください。
- 回転しているソーチェンに触れないでください。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

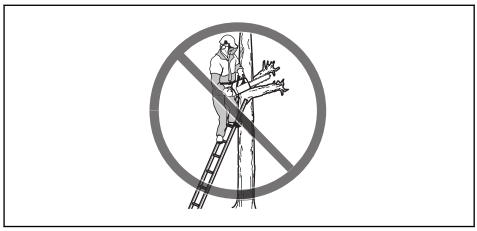
- 疲労時や、視力、注意力、運動能力、判断力に悪影響を及ぼすアルコール、薬物、医薬品の影響下で本製品を使用しないでください。
- 本製品を保護等級 IPX4 の Husqvarna バッテリーと組み合わせることで、雨天時でも使用できます。
- 悪天候下での作業は疲れやすく、危険性も高まります。濃霧、豪雨、強風、厳寒、落雷の恐れがあるなど、天候が非常に悪い場合はリスクが高まるため、本製品を使用しないようお勧めします。
- ガイドバー、ソーチェン、すべてのカバーが正しく装着されていない状態で本製品を始動しないでください。装着が不十分な状態で始動すると、ドライブスプロケットが緩み、重症を負うおそれがあります。*ガイドバーとソーチェンの組み立て方法 12 ページ*に記載されている指示を参照してください。



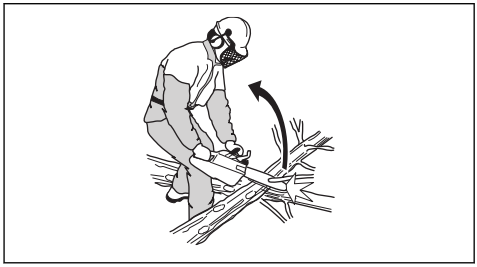
- 周囲の状況を確認してください。人や動物が本製品に接触したり、本製品の操作に影響を及ぼしたりしないことを確認してください。



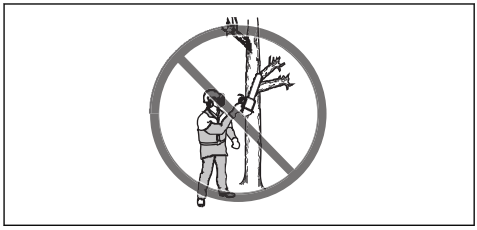
- 本製品を子供に使用させたり、子供のそばで使用したりしないでください。本製品は簡単に始動できるため、十分な監視下にないと子供が始動してしまう可能性があります。これにより、重傷を負うおそれがあります。
- 目の届かない場所に本製品を置く場合や長時間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
- 本製品を完全に制御できるように、安定した足場で作業を行ってください。ハシゴ上や樹上で本製品を使用しないでください。不安定な足場で本製品を使用しないでください。



- 樹上作業では怪我の危険が高まるため、専門の切断技術や作業技術を習得し、遵守する必要があります。安全保護具や木登り用具（ハーネス、ロープ、ベルト、木登りスパイク、スナップフック、カラビナなど）の使用方法を含む、樹上作業に関する特定の専門訓練を受けていない場合は、樹上作業を行わないでください。
- 落下物を受け止めようとしないでください。ロープ 1 本のみで身体を確保した状態で、樹上での切断作業を行わないでください。安全ロープは必ず 2 本使用してください。
- 注意力が散漫な状態では、キックバックの危険が高まります。ガイドバーのキックバックゾーンが誤って枝や木などに接触すると、キックバックが発生するおそれがあります。

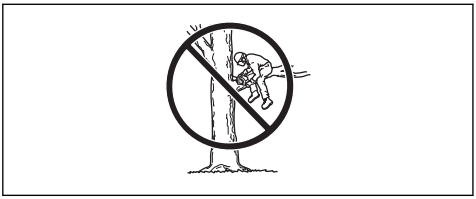


- 本製品を片手で持たないでください。片手では本製品を安全に制御できません。
- 本製品を肩よりも上にかかげて切断したり、ガイドバーの先端で切断したりしないでください。



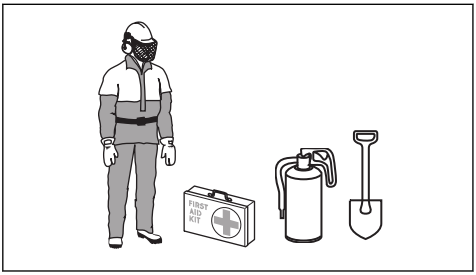
- 事故発生時に助けを求めることができない状況で本製品を使用しないでください。
- 本製品を移動する際は、本製品を停止し、チェンブレーキをかけてください。ガイドバーとソーチェンを後ろに向けて本製品を持ってください。たとえ短い距離でも本製品を搬送、移動する場合は、ガイドバーに搬送用ガードを装着してください。
- 本製品を地面に置く際は、チェンブレーキをかけ、常に本製品から目を離さないでください。たとえ短時間であっ

ても本製品から離れる際は、本製品を停止し、バッテリーを取り外してください。
- 駆動システムに木くずが詰まる場合があります。これにより、ソーチェンが動かなくなる可能性があります。清掃する際は必ず本製品を停止し、バッテリーを取り外してください。
- 身体を安全に動かせることを確認してください。木の根、岩、枝、溝などの障害物がないか、周囲の状態や地形を調べてください。斜面で作業する際は注意してください。
- 不適切なカッティング装置や、正しく目立てされていないカッティング装置で切断すると、振動が増加します。硬木（広葉樹など）の切断時は、軟木（針葉樹など）の切断時よりも振動が増加します。
- 循環器機能が低下している方が過度の振動にさらされると、循環器系や神経の障害の原因となるおそれがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ピリピリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は、一般的に指、手、手首に発生し、低温環境下で悪化します。
- 自分の能力を超える作業を行わないでください。
- 本製品の使用時に起こり得る状況をすべて予測して対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に基づいて作業を行ってください。



身体保護具

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。



- チェンソー事故の大半は、ソーチェンが使用者に当たった際に発生します。作業中は、認可されたプロテクティブ装具を着用する必要があります。プロテクティブ装具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。使用が推奨される装具については、サービス代理店にお問い合わせください。
- ぴったりとした、ただし動きを制限しない服を着用する必要があります。定期的にプロテクティブ装具の状態を確認してください。
- 認可された防護ヘルメットを着用してください。
- 認可されたイヤマフを使用してください。長時間騒音にさらされると、回復不能な聴覚障害になる可能性があります。
- 認可された保護メガネあるいはバイザーを着用し、飛散する物体で負傷しないようにしてください。本製品は、木くず（小さな木片）などの物体を強い力で飛散させます。これにより重傷を負うことがあります。特に目の怪我の原因になることがあります。
- チェンソー用保護手袋を着用してください。
- チェンソー用保護ズボンを着用してください。
- つま先にスチールキャップの入った、滑りにくい靴底のチェンソー用保護ブーツを着用してください。
- 常に救急箱を手元に準備しておいてください。
- 火花の発生による危険。森林火災を防止するため、消火器とシャベルを用意してください。

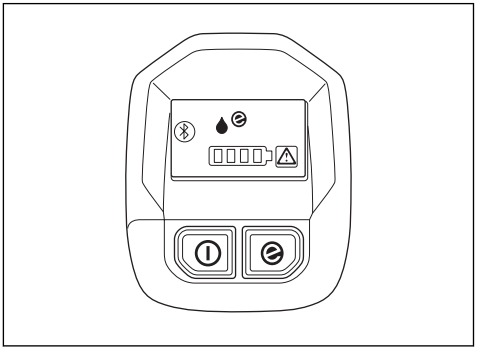
本製品の安全装置

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 損傷している、または正しく動作していない安全装置を取り付けた状態で、製品を使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。*製品の安全装置のメンテナンスと点検 25 ページ*を参照してください。
- 安全装置が損傷している、または正しく動作していない場合は、Husqvarna サービス代理店にお問い合わせください。

ユーザーインターフェイスの機能 (542i XP®)

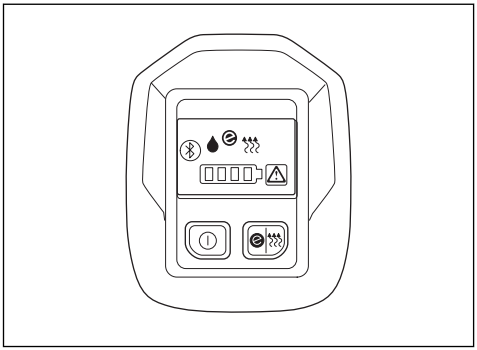
ユーザーインターフェイスには、ON/OFF ボタン、[SavE]ボタン、バッテリーインジケータ、オイルレベルインジケータ、警告インジケータがあります。チェンブレーキが作動するか、過負荷の危険がある場合、警告インジケータが点滅します。過負荷保護が作動すると、製品は一時的に停止し、温度が下がるまで使用できなくなります。警告インジケータが点灯している場合は、販売店にお問い合わせください。



ユーザーインターフェイスに関する詳細は、*動作 13 ページ*を参照してください。

ユーザーインターフェイスの機能 (542i XP® G)

ユーザーインターフェイスには、ON/OFF ボタン、[SavE]ボタン、バッテリーインジケータ、オイルレベルインジケータ、ハンドル加熱インジケータ、警告インジケータがあります。チェンブレーキが作動するか、過負荷の危険がある場合、警告インジケータが点滅します。過負荷保護が作動すると、製品は一時的に停止し、温度が下がるまで使用できなくなります。警告インジケータが点灯している場合は、販売店にお問い合わせください。



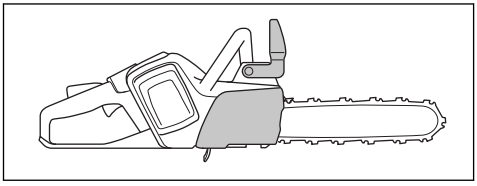
ユーザーインターフェイスに関する詳細は、*動作 13 ページ*を参照してください。

自動シャットダウン機能

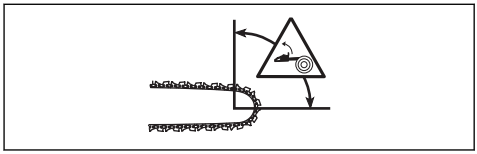
本製品には自動シャットダウン機能が搭載されており、3 分以上使用しないとオフになります。

チェンブレーキとフロントハンドガード

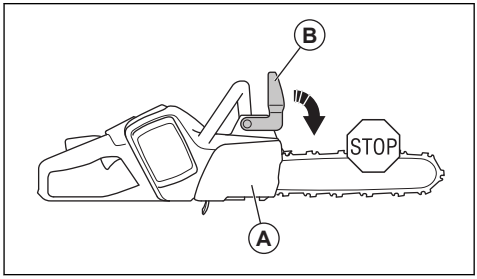
本製品にはチェンブレーキが備わっており、キックバックが発生するとソーチェンが停止します。チェンブレーキは事故発生の危険性を軽減しますが、何よりも大切なのは慎重な取り扱いです。



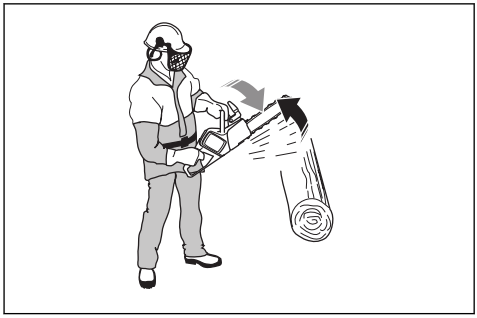
警告： キックバックが発生する危険のある状況を作らないでください。本製品を慎重に使用し、ガイドバーのキックバックゾーンが物に触れないように注意してください。



チェンブレーキ（A）は、左手を使用して手動で、またはイナーシャ機構で自動的に作動させることができます。フロントハンドガード（B）を前方に動かして、チェンブレーキを手動でかけます。この動きによってバネを使用した機構が始動し、ドライブスプロケットが停止します。

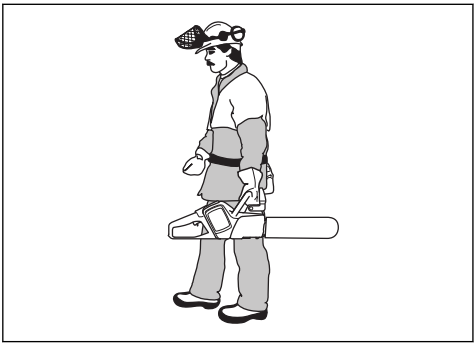


チェンブレーキの動作は、キックバックの強さと本製品の位置によって異なります。キックバックゾーンが身体から最も離れた位置にあるときに非常に強いキックバックが起こった場合、イナーシャ機構によりチェンブレーキがかかります。キックバックの力が弱く、キックバックゾーンが身体に近い場合は、左手を使用して手動でチェンブレーキをかけます。

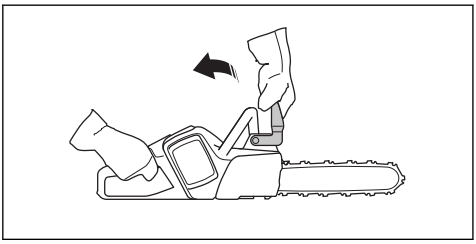


本製品を ON にする際、および距離にかかわらず、本製品を移動する際は、チェンブレーキを駐車ブレーキとして使用

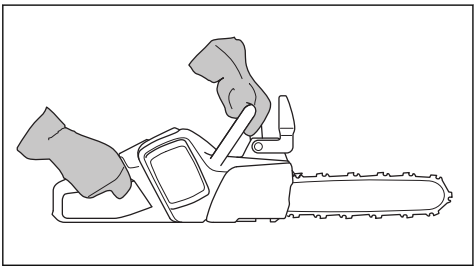
します。これにより、自身や周りにいる人にソーチェンが接触する危険性を低減できます。



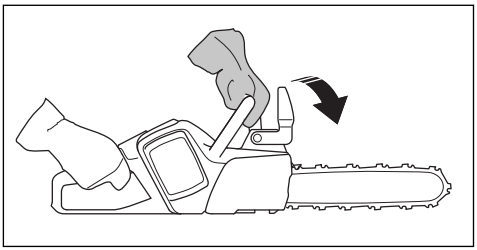
フロントハンドガードを後方に引いて、チェンブレーキを解除します。



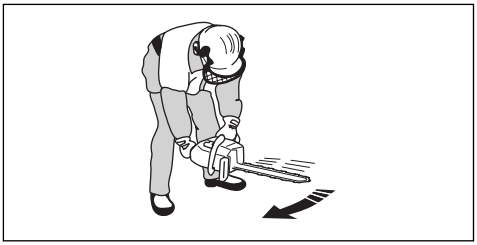
キックバックは突然、強い力で起こることがあります。キックバックのほとんどは弱いもので、いつもチェンブレーキが自動的にかかるとは限りません。本製品の使用中にキックバックが発生した場合は、ハンドルをしっかりと握って、放さないでください。



フロントハンドガードは、手がフロントハンドルから離れた際にソーチェンが接触するリスクを低減します。

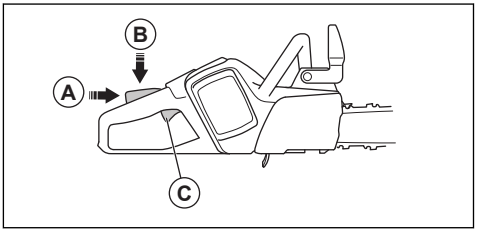


伐倒ポジションでは、手動でチェンブレーキをかけることができません。このポジションでチェンブレーキをかけられるのは、イナーシャ機構だけです。



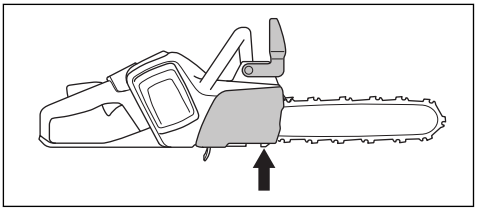
パワートリガーロック

パワートリガーロックは、パワートリガーの操作ミスを防ぐためのものです。パワートリガーロックを前方(A)に押し、次にハンドルの方(B)に押し込むと、パワートリガー(C)が解放されます。ハンドルから手を放すと、パワートリガーとパワートリガーロックは元の位置に戻ります。



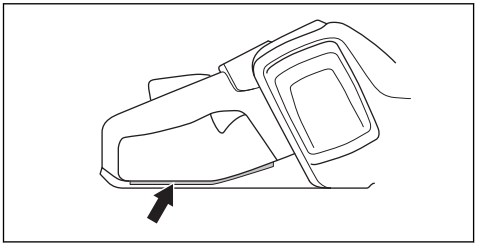
チェンキャッチャー

ソーチェンが破損したり外れたりした場合は、チェンキャッチャーがソーチェンを受け止めます。チェンの張りが適切な場合は、そのような危険性が軽減されます。ガイドバーとソーチェンを適切にメンテナンスすることで、危険が減少します。手順については、*組み立て 12 ページ* および *メンテナンス 24 ページ* を参照してください。



右手ガード

右手ガードは、ソーチェンが破損したり緩んだりした場合、手のガードとして機能します。また、本製品を使用する際、枝や小枝が邪魔にならないようにします。



バッテリーの安全

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 認可された Husqvarna のバッテリーのみを使用してください。*アクセサリー 36 ページ*を参照してください。バッテリーはソフトウェアで暗号化されています。
- 認可された Husqvarna バッテリーは、関連する Husqvarna 製品の電源にのみ使用してください。*アクセサリー 36 ページ*を参照してください。負傷を防ぐため、このバッテリーを他の装置の電源として使用しないでください。
- 感電するおそれがあります。バッテリーの端子を鍵、ネジ、その他の金属に接触させないでください。バッテリーが短絡する原因になります。
- 再充電できないバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーのエアスロットに物が入らないようにしてください。
- バッテリーは直射日光や熱、裸火から保護してください。バッテリーによりやけどや化学熱傷を負うおそれがあります。
- バッテリーは雨から遠ざけて、濡れない状態に維持してください。
- バッテリーはマイクロ波や高圧から保護してください。
- バッテリーを分解したり壊したりしないでください。
- バッテリーは -10 ～ 40 °C（14 ～ 104 °F）の温度で使用してください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器は、水で洗浄しないでください。*バッテリーとバッテリーホルダーの点検方法 27 ページ*を参照してください。
- 損傷したバッテリーや正しく動作しないバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーはくぎ、ネジ、または宝飾品などの金属から離して保管してください。
- バッテリーは子供が近づけない場所に保管してください。

バッテリー充電器の安全性

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 安全注意事項を守らないと、感電や短絡の危険があります。
- 認可された、破損のない主電源ソケットを、接地された状態で使用してください。
- 製品の付属品以外のバッテリー充電器は使用しないでください。認可された Husqvarna のバッテリーの充電には、認可された Husqvarna のバッテリー充電器のみを使用してください。*認可されたバッテリー充電器 37 ページ*を参照してください。
- バッテリー充電器を分解しないでください。
- 損傷したバッテリー充電器や正しく動作しないバッテリー充電器は使用しないでください。
- 電源コードを持ってバッテリー充電器を持ち上げないでください。主電源ソケットからバッテリー充電器を取り外す際は、プラグを引っ張ってください。電源コードを引っ張らないでください。
- すべてのケーブルと延長コードが、水や油、または尖った物に接触しないようにしてください。ドア、フェンスなどの間に、ケーブルが挟まっていないことを確認してください。
- 可燃性の物質や、腐食の原因となる物質の近くでは、バッテリー充電器を使用しないでください。バッテリー充電器の上に覆うものが何もないことを確認してください。煙や火災が発生した場合、バッテリー充電器の電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
- バッテリーは、通気がよく直射日光が当たらない屋内でのみ充電してください。屋外でバッテリーを充電しないでください。濡れた状態でバッテリーを充電しないでください。
- バッテリー充電器は、温度が 5～40 °C（41～104 °F）の場所だけで使用してください。充電器は、通気がよく、埃がない、乾燥した環境で使用してください。
- バッテリー充電器の冷却スロットに物が入らないようにしてください。
- バッテリー充電器が短絡するため、充電器の端子を金属物体へ接触させないでください。
- 認可された、破損していない壁コンセントを使用してください。

メンテナンスのための安全注意事項

警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

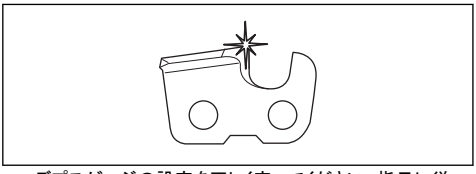
- メンテナンス、その他の点検、または製品の組み立てを行う前に、バッテリーを取り外してください。
- 作業者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。メンテナンスおよびさまざまなサービスについては、サービス代理店にお問い合わせください。

- バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。強い洗剤を使用すると、プラスチックの部品が損傷する場合があります。
- メンテナンスを実施しないと、製品の寿命が短くなり、事故の危険性が増します。
- 特に本製品の安全装置については、すべての整備と修理の作業に特殊な訓練が必要です。メンテナンスを実施した後、この取扱説明書の点検項目の中に不合格の項目があった場合は、サービス代理店にお問い合わせください。当社は、お客様の製品のために、プロフェッショナルな修理と整備を提供することを保証します。
- 純正の交換部品のみを使用してください。

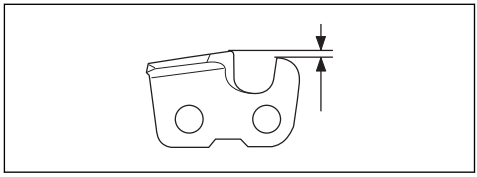
カッティング装置の安全注意事項

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

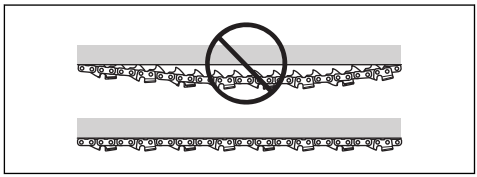
- 認可されたガイドバー／ソーチェンの組み合わせと目立て装置のみを使用してください。手順については、「*主要諸元 35 ページ*」を参照してください。
- ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。
- 刃の目立てを正しく行ってください。指示に従って、推奨された目立てゲージをご使用ください。破損している、または誤って目立てされたソーチェンを使用すると事故の危険性が高まります。



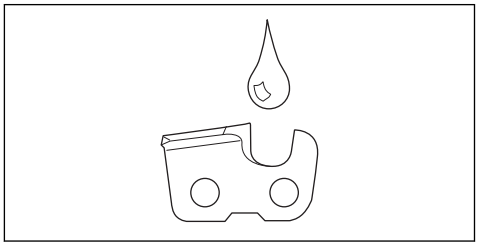
- デプスゲージの設定を正しく守ってください。指示に従い、推奨されているデプスゲージの設定を使用してください。デプスゲージの設定が大きすぎると、キックバックの危険性が高まります。



- ソーチェンに適切な張りがあることを確認します。ソーチェンがガイドバーにしっかり取り付けられていないと、ソーチェンが外れる場合があります。ソーチェンを正しく張らないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。*ソーチェンの張りの調整（バーボルト使用）29 ページ*を参照してください。



- カッティング装置を定期的にメンテナンスして、適切に注油してください。ソーチェンが正しく注油されていないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。

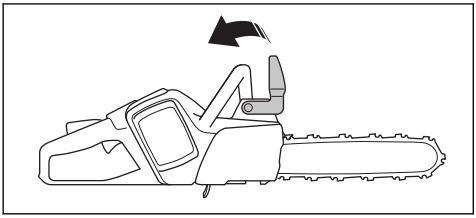


組み立て

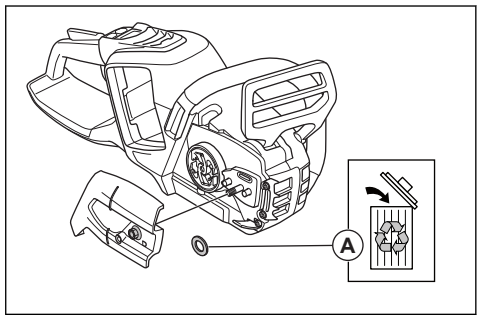
ガイドバーとソーチェンの組み立て方法

警告： 本製品の組み立て、またはメンテナンスを実行する前に必ずバッテリーを取り外してください。

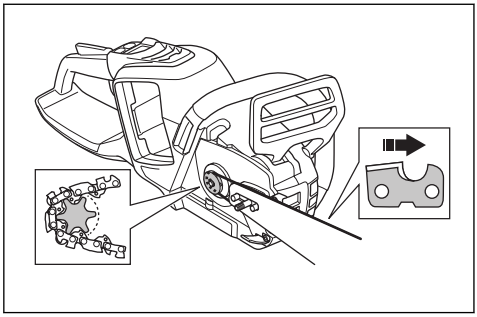
1. チェンブレーキを解除します。



2. バーナットを緩め、ドライブスプロケットカバーを取り外します。搬送リング（A）を取り外して廃棄します。



3. バーボルトの上にガイドバーを取り付けます。ガイドバーを最後部の位置まで移動します。ソーチェンをドライブスプロケットの上まで持ち上げて、ガイドバーの溝にはめます。ガイドバーの上端から装着作業を始めてください。
4. カッターの刃の先端部がガイドバーの上端で前向きになっていることを確認します。



5. ドライブスプロケットカバーを取り付けて、チェン調整ピンをガイドバーの穴に通します。
6. ソーチェンのドライブリンクがドライブスプロケットに正しく取り付けられていることを確認します。
7. ソーチェンが正しくガイドバーの溝にはまっていることを確認します。
8. 指でバーのナットを締めます。
9. ソーチェンの張りを調整し、バーナットを締めます。手順については、*ソーチェンの張りの調整（バーボルト使用）29 ページ*を参照してください。

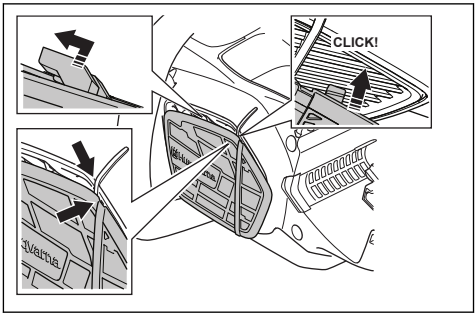
スパイクバンパーを組み立てるには

スパイクバンパーを組み立てる場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

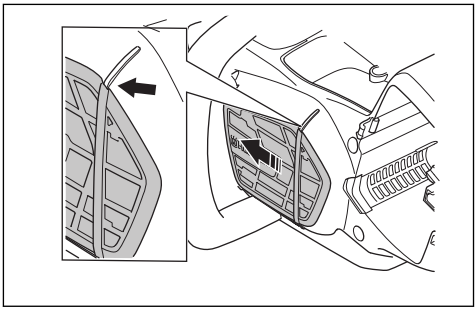
吸気口カバーの取り付け

粉塵と微粒子が大量に空気中に放出される素材を切断する場合は、吸気口カバーを使用して作業することをお勧めします。

1. 吸気口カバーをファンハウジングに合わせます。吸気口カバーの縦の印をファンハウジングの印の右側に合わせます。
2. カチッという音が聞こえるまで、吸気口カバーをファンハウジングに慎重に押し込みます。



3. 縦の印の位置が合うまで、吸気口カバーを左側に押します。



動作

はじめに

警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

Husqvarna Connect

Husqvarna Connect は、モバイルデバイス用の無料アプリです。Husqvarna Connect アプリは、お持ちの Husqvarna 製品の拡張機能を提供します。

- 拡張製品情報。
- 製品の部品とサービスに関する情報とヘルプ。

Husqvarna Connect の使用を開始する

1. Husqvarna Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Husqvarna Connect アプリで登録を行います。
3. Husqvarna Connect アプリの指示に従い、本製品を追加します。

注記： Husqvarna Connect アプリは一部の市場ではダウンロードできません。詳しくは、サービス販売店までお問い合わせください。

Husqvarna Fleet Services™

ハスクバーナフリートサービス™ は、業務用管理者にすべての製品の概要を提供するクラウドソリューションです。Husqvarna Fleet Services™の詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

本製品と Husqvarna Fleet Services™ の接続

1. お使いのモバイルデバイスに Husqvarna Fleet Services™ アプリをダウンロードします。
2. Husqvarna Fleet Services™ アプリにログオンします。
3. 本製品と Husqvarna Fleet Services™ のペアリング手順に従ってペアリングを行います。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジー

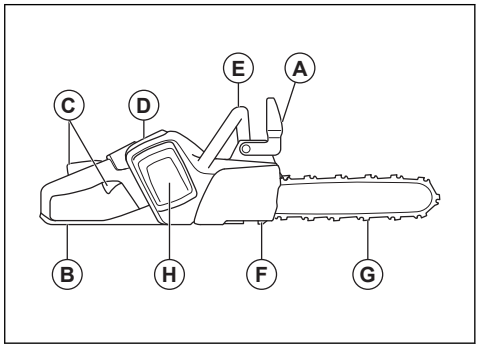
Bluetooth® ワイヤレステクノロジー搭載製品は、モバイルデバイスに接続できます。

お使いのモバイルデバイスを本製品に接続すると、*Bluetooth®* ワイヤレステクノロジーのシンボルが表示されます。

注記： この携帯式製品は、適用される無線周波数（RF）暴露要件に準拠しており、制限なく身体の近くで使用できます。

製品使用前の機能点検

1. チェンブレーキ（A）を点検し、正常に動作すること、損傷がないことを確認します。
2. 後部右手ガード（B）を点検し、損傷がないことを確認します。
3. パワートリガーとパワートリガーロック（C）を点検し、正常に動作すること、損傷がないことを確認します。
4. キーパッド（D）を点検し、正常に動作することを確認します。
5. ハンドル（E）にオイルが付着していないことを確認します。
6. すべての部品が正しく取り付けられ、損傷や欠如がないことを確認します。
7. チェンキャッチャー（F）を点検し、正しく取り付けられていることを確認します。
8. チェンの張り具合（G）を点検します。
9. バッテリー（H）を充電し、本製品に正しく取り付けられていることを確認します。
10. パワートリガーを放すとソーチェンが停止することを確認します。



注記： 機能点検の方法については、*製品の安全装置のメンテナンスと点検 25 ページ*を参照してください。

正しいチェンオイルの使用方法

警告： 人体や環境に害を及ぼすため、廃油は使用しないでください。また、廃油はオイルポンプ、ガイドバー、ソーチェンを損傷させるおそれがあります。

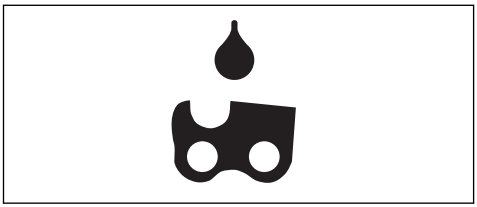
警告： カッティング装置の潤滑が十分でない場合、ソーチェンが破損する可能性があります。作業者が重傷を負ったり、死亡事故につながったりするおそれがあります。

警告： この機能が正常に作動するように、適切なチェンオイルを使用してください。チェンオイルの選び方については、お近くのサービス代理店にご相談ください。

- ソーチェンの寿命や環境保護のために Husqvarna 製のチェンオイルを使用してください。Husqvarna 製のチェンオイルを入手できない場合は、標準的なチェンオイルの使用をお勧めします。
- ソーチェン表面に滑らかな皮膜を形成するチェンオイルを使用してください。
- 外気温に合う適正な粘着性のチェンオイルを使用してください。

注意： 0°C 未満の温度では、一部のチェンオイルは粘度が高くなりすぎて、オイルポンプ構成部品が損傷するおそれがあります。

- 推奨されているカッティング装置を使用してください。*アクセサリー 36 ページ*を参照してください。
- チェンオイルタンクのキャップを取り外します。
- チェンオイルタンクにチェンオイルを充填します。
- キャップをしっかりと取り付けます。



注記： 製品のチェンオイルタンクの位置を確認するには、*製品の概要 2 ページ*を参照してください。

バッテリー充電器の接続方法

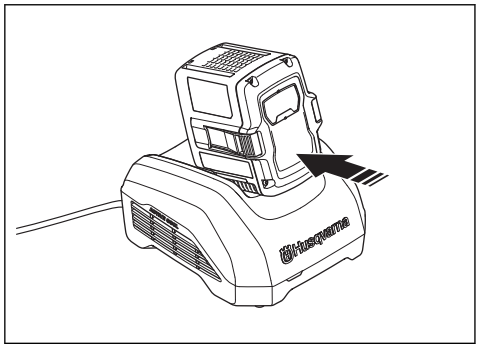
1. シリアルプレートで指定されている電圧と周波数を持つ電源にバッテリー充電器を接続してください。
2. 接地された壁コンセントにプラグを差し込みます。バッテリー充電器の LED が一度緑色で点滅します。

注記： バッテリーの温度が 0 °C（32 °F）未満の場合、または 50 °C（122 °F）以上の場合、バッテリーは充電されません。

バッテリーの充電

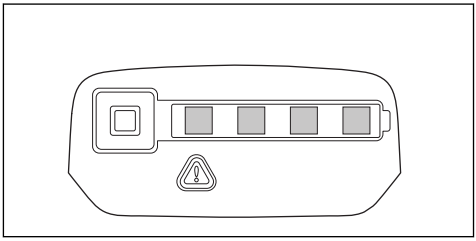
注記： 初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを充電してください。新品のバッテリーは 30 %しか充電されていません。

1. バッテリーが濡れていないことを確認してください。
2. バッテリーをバッテリー充電器に取り付けます。



注記： バッテリーとバッテリー充電器の外観はモデルによって異なりますが、手順は同じです。

3. バッテリー充電器の緑の充電ライトが点灯していることを確認してください。これにより、バッテリーがバッテリー充電器に正しく接続されていることがわかります。
4. バッテリーの LED がすべて点灯したら、フル充電されています。



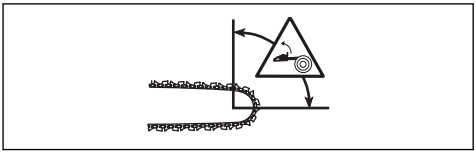
5. 電源ソケットからバッテリー充電器を取り外す際は、プラグを引っ張ってください。ケーブルを引っ張らないでください。
6. バッテリー充電器からバッテリーを外します。

注記： 詳細については、バッテリーおよびバッテリー充電器の取扱説明書を参照してください。

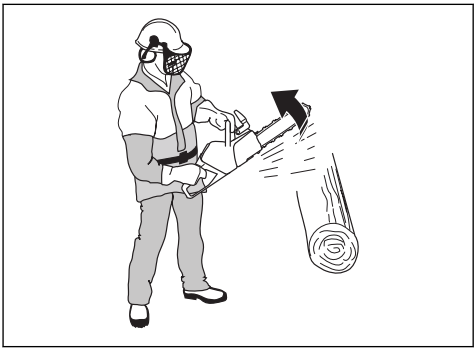
キックバックについて

警告： キックバックにより作業者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。リスクを軽減するには、キックバックの原因とその回避方法を理解しておく必要があります。

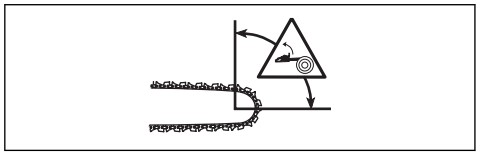
キックバックは、ガイドバーのキックバックゾーンに物体が接触したときに起こります。キックバックは突然発生し、製品本体が作業者に向かって跳ね返ってくることがあります。



キックバックは、常にガイドバーの切削面で起こります。通常、本体は作業者に向かって跳ね返りますが、別の方向に向かう場合もあります。キックバック発生時に本製品をどのように使用していたかによって、キックバックの動きの方向が決まります。



キックバックは、ガイドバーのキックバックゾーンに物体が接触したときにのみ起こります。キックバックゾーンに何も接触しないようにしてください。



バー先端の半径が小さいと、キックバックの力が小さくなります。

キックバックの発生を減らすには、低キックバックソーチェンを使用してください。キックバックゾーンに何も接触しないようにしてください。

警告： キックバックが発生しないソーチェンはありません。指示に必ず従ってください。

キックバックに関するよくある質問

- **キックバックが起きた場合、必ず手動でチェンブレーキをかけることができますか？**

  いいえ。フロントハンドガードを前方に倒すには、ある程度の力が必要です。必要な力がかからない場合、チェンブレーキはかかりません。作業中は両手でしっかりと製品のハンドルを持ってください。キックバックが発生すると、チェンブレーキがソーチェンを止められず、ソーチェンが人体に接触する可能性があります。また、手がフロントハンドガードに届かず、チェンブレーキがかからない位置もあります。
- **キックバックが発生した場合は、常にイナーシャ解放機構でチェンブレーキがかかりますか？**

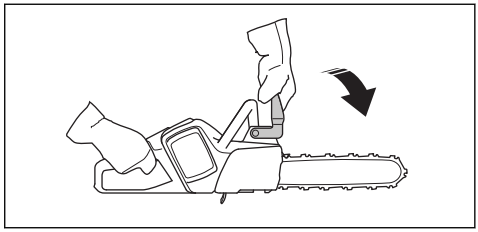
  いいえ。まずチェンブレーキが正しく作動する必要があります。チェンブレーキの点検方法の詳細については、*製品の安全装置のメンテナンスと点検 25 ページ*を参照してください。本製品を使用する前に、これを毎回実行することをお勧めします。次に、チェンブレーキがかかるには、強力なキックバックが発生する必要があります。チェンブレーキの感度が高すぎると、負荷の高い作業時にチェンブレーキが頻繁にかかる可能性があります。
- **キックバック発生時にチェンブレーキをかけると必ず使用者の怪我を防ぐことができますか？**

  いいえ。怪我を防ぐには、チェンブレーキが適切に動作する必要があります。キックバック発生時には、チェンブレーキも使用してソーチェンを停止させる必要があります。作業者の身体がガイドバーに近い場合、チェンブレーキによるソーチェンの停止が間に合わずに、作業者にソーチェンが当たる可能性があります。

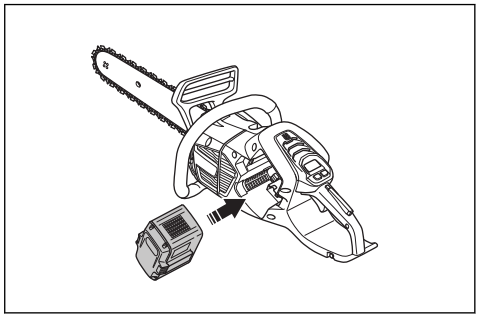
警告： 使用者が正しい操作方法で使用した場合にのみ、キックバックを防ぐことができます。

本製品の始動方法

1. パワートリガーとパワートリガーロックを点検します。*パワートリガーロックの点検 26 ページ*を参照してください。
2. チェンブレーキをかけます。

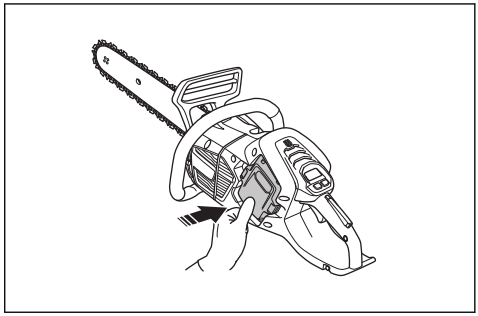


3. バッテリーをバッテリーホルダーに取り付けます。



注意： バッテリーがバッテリーホルダーにしっかりと取り付けられていることを確認してください。バッテリーがバッテリーホルダーにスムーズに入らない場合は、バッテリーの位置が正しくありません。

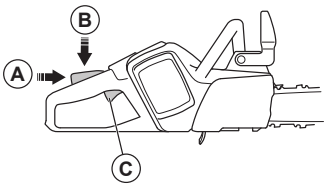
4. カチッと音がするまで、バッテリーの下部を押します。



5. ディスプレイが表示されるまで ON/OFF をボタンを長押しします。



6. フロントハンドガードを後方に動かして、チェンブレーキを解除します。
7. パワートリガーロックを前方(A)に押してから、押し下げます(B)。



8. パワートリガー(C)で電源をオンにし、本製品を始動します。

SavE 機能の使用

SavE 機能を使用するとチェンの速度は遅くなり、本製品の出力が低下します。

1. [SaveE]ボタンを押します。緑色の LED が点灯します。
2. もう一度[SavE]ボタンを押すと、SavE 機能が停止します。緑色の LED が消灯します。



ハンドルの加熱および加熱解除 (542i XP® G)

本製品にはヒーター付きのハンドルが付いています。

- ハンドルを加熱するには、[SavE]ボタンを 1 秒間押し続けます。ハンドル加熱インジケータが点灯します。



- ハンドルの加熱を解除するには、[SavE]ボタンを長押しします。ハンドル加熱インジケータが消灯します。

オイルレベルインジケータ

オイルレベルインジケータは、チェンオイルを充填する時期を示します。

1. オイルレベルインジケータが点灯したら、チェンオイルを補充します。*正しいチェンオイルの使用方法 14 ページ*を参照してください。
2. 本製品を始動して、1 ～ 2 分間待ちます。オイルレベルインジケータが消灯します。

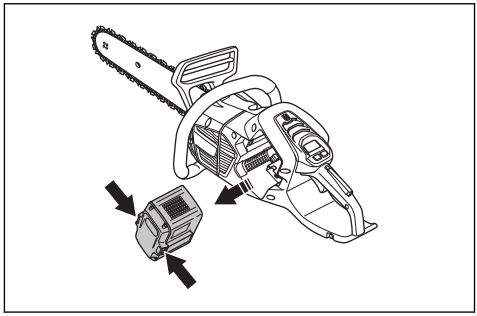


本製品の停止方法

1. ディスプレイが消えるまで、ON/OFF ボタンを長押しします。



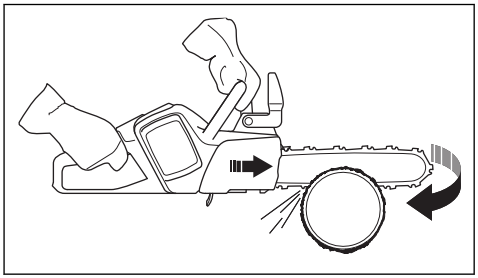
2. バッテリーリリースボタンを押して、バッテリーをバッテリーホルダーから取り外します。



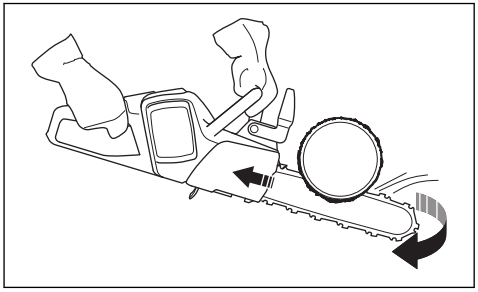
引き切りと押し切り

本製品を使用して 2 つの位置から木を切断することができます。

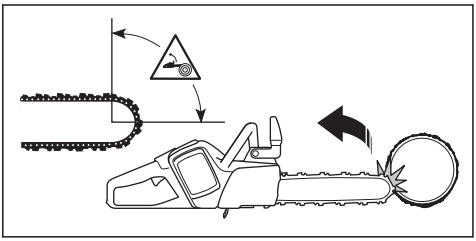
- 引き切りで切断するには、ガイドバーの下部で切断します。切断するとき、ソーチェンが木を引き寄せます。この位置で、本製品とキックバックゾーンの位置をうまく制御できます。



- 押し切りで切断するには、ガイドバーの上部で切断します。ソーチェンが作業者の方向に本製品を押します。



警告： ソーチェンが幹に引っかかると、本製品が作業者に向かって押し出されます。本製品をしっかりと持ち、ガイドバーのキックバックゾーンが木に触れてキックバックが発生しないように注意してください。

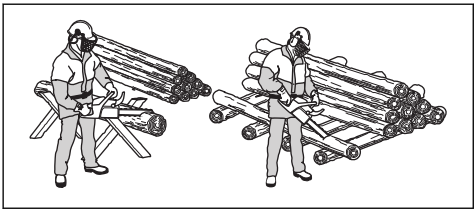


鋸断作業にあたって

警告： 切断するときは、最大出力で使用し、切断後は速度をアイドリングに落とします。

注意： 負荷のない状態でモーターを長時間稼働させないでください。モーターが損傷するおそれがあります。

1. 幹はソーホースかランナーに置いてください。



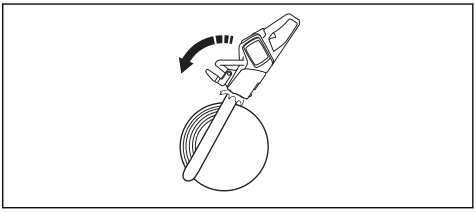
警告： 幹を積み重ねて切断しないでください。キックバックの危険が高まり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

2. 作業済みの木片は作業エリアから撤去してください。

警告： 切断片が作業エリアにあるとキックバックの危険性が増し、バランスを失うおそれもあります。

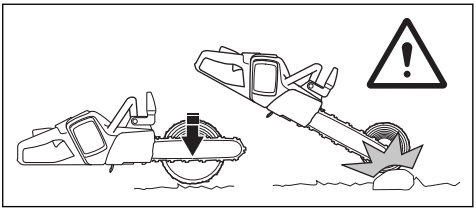
スパイクバンパーの使用方法

1. スパイクバンパーを木の幹に押し当てます。
2. 最大出力にして本製品を回転させます。スパイクバンパーは幹に押し当てたままにしてください。幹を切断するのに必要な力をかけやすくなります。



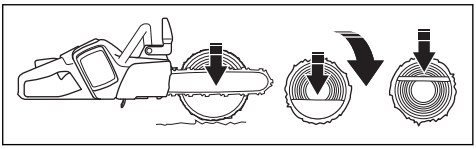
地面で幹を切断する方法

1. 幹は引き切りで切断します。最大出力を維持しながら、予期せぬ事態に備えてください。



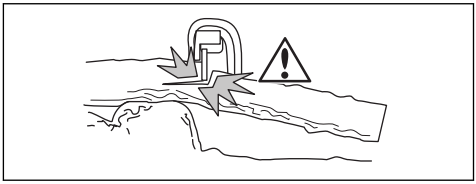
警告： 切断が完了したときには、ソーチェンが地面に触れないように注意してください。

2. 幹の約 2/3 を切断し、停止します。幹を転がし、反対側から切断します。



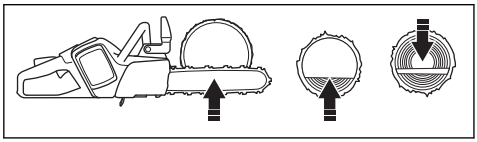
片側だけで支えている幹を切断する方法

警告： 切断中に幹が折れないようにしてください。以下の手順に従ってください。



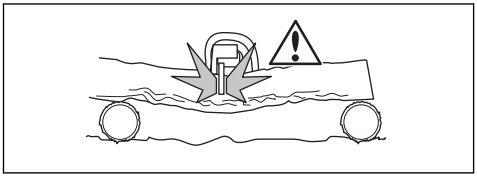
1. 幹を押し切りで約 1/3 切断します。

2. 2 つの切り口が当たるまで、引き切りで幹を切断します。

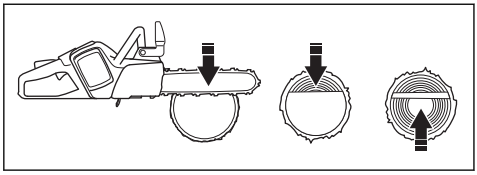


両側で支えている幹を切断する方法

警告： 切断中にソーチェンが幹に挟み込まれないように注意してください。以下の手順に従ってください。



1. 幹を引き切りで約 1/3 切断します。
2. 押し切りで幹の残りの部分を切断します。



警告： ソーチェンが幹に挟み込まれた場合は、モーターを停止します。てこなどで切り口を広げ、本製品を抜き取ります。本製品を手で引き抜こうとしないでください。本製品が突然抜けて負傷する危険があります。

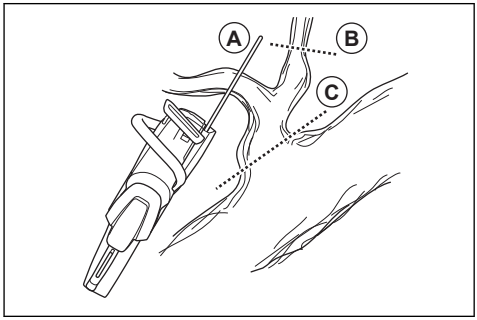
枝払いの方法

注記： 太い枝の場合は、切断と同じ方法で行います。*鋸断作業にあたって 18 ページ*を参照してください。

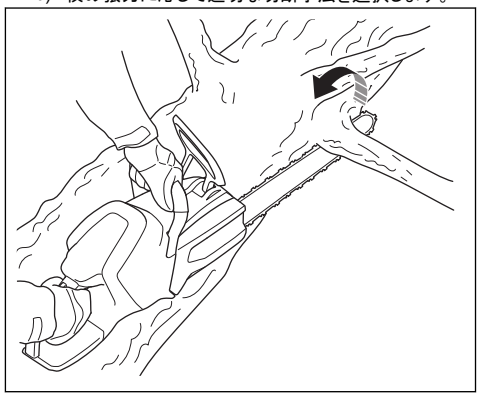
警告： 枝払いの手法を使用しているときは、事故の危険性が高くなります。キックバックを防止する方法については、*キックバックについて 15 ページ*を参照してください。

警告： 枝は 1 本ずつ切断してください。小さい枝を切除するときは注意してください。薮を切ること（多数の小枝を同時に切ること）はしないでください。小さい枝がソーチェンに絡まり、本製品を安全に操作できなくなる場合があります。

注記： 小さい枝を切断する場合は、1 本ずつ作業します。小さい枝（A）と（B）を切断してから、幹に近い枝（C）を切ります。



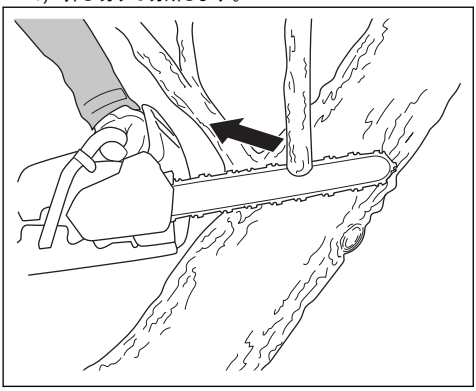
1. 幹の右側にある枝を切断します。
   a) ガイドバーを幹の右側に固定し、製品本体を木の幹に当てます。
   b) 枝の張力に応じて適切な切断手法を選択します。



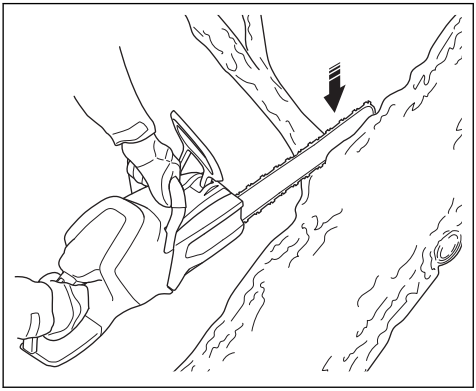
警告： 枝を切断する方法がわからない場合は、作業を続ける前にチェンソーの専門家に相談してください。

2. 幹の上部にある枝を切断します。
   a) 本製品を木の幹に当てて保持し、ガイドバーを幹に沿って動かします。

b) 押し切りで切断します。



3. 幹の左側にある枝を切断します。
   a) 枝の張力に応じて適切な切断手法を選択します。



警告： 枝を切断する方法がわからない場合は、作業を続ける前にチェンソーの専門家に相談してください。

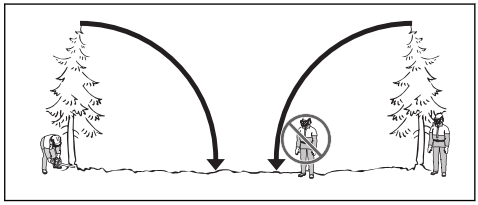
張力がかかっている枝を切断する方法については、*張力のある木や枝の鋸断 23 ページ*を参照してください。

伐倒作業にあたって

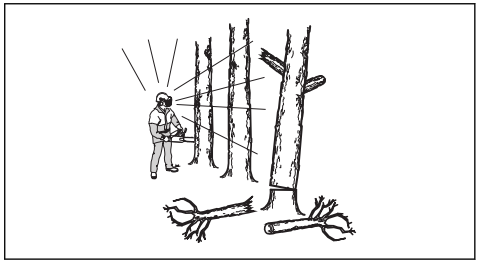
警告： 木を切り倒すには経験が必要です。可能であれば、チェンソー操作のトレーニングコースに参加してください。経験を積んだ作業者の話を聞いて、知識を深めてください。

安全な距離を保つには

1. 付近にいる人が、木の高さより 2.5 倍以上離れていることを確認してください。



2. 伐倒前と伐倒中に、この「危険領域」内に誰もいないことを確認してください。



伐倒方向を計算するには

1. 伐倒させる必要がある方向を調べます。枝払いや幹切りが簡単に行えるように、伐倒の方向を決めます。また、足場が安定し、安全に移動できる必要があります。

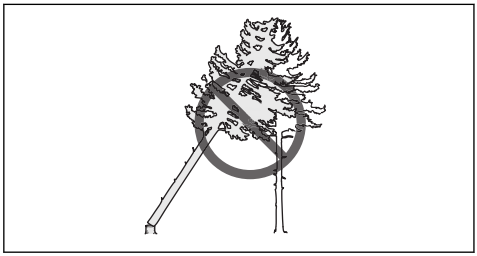
警告： 木が自然に倒れる方向に伐倒すると危険な場合や、それが不可能な場合は、別の方向に倒してください。

2. 木が自然に倒れる方向を調べます。例えば、木の傾きや曲がり方、風の方向、枝の位置や雪の重さなどです。
3. 周辺に他の木、電線、道路、建物などの障害物がないか調べてください。
4. 幹に破損や腐敗がないか調べてください。

警告： 幹が腐敗していると完全に切断する前に木が倒れる危険があります。

5. 伐倒中に折れて頭上に落ちてきそうな割れ枝や枯れ枝がないかどうか確認してください。

6. 木が別の立木に向かって倒れないようにしてください。他の木に引っかかった木を外す作業は危険で、事故の確率も高くなります。*引っかかった木を外すには 23 ページ*を参照してください。

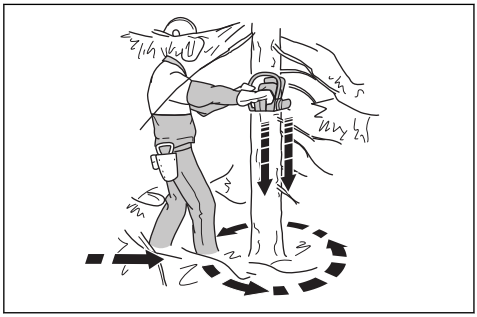


警告： 伐倒作業では、切断作業の完了後すぐにイヤマフを外してください。音や警告信号が聞こえるようにしてください。

枝払いして退避路を確保するには

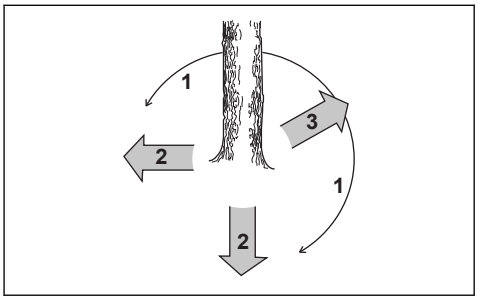
肩の高さから下の枝をすべて切り落とします。

1. 上から下に、引き切りで切断します。木が作業者と本製品の間にあることを確認してください。



2. 木の周辺の作業領域から下草を払います。切り落とした木材をすべて作業領域から除去します。
3. 作業場所に石、枝、穴などの障害物がないか確認してください。木が倒れ始めたときに退避路に障害物がないようにしてください。退避路は、伐倒方向から約 135 度の角度になるように取る必要があります。

1. 危険領域
2. 退避路
3. 伐倒方向



伐倒するには

Husqvarna では、木を倒すとき、受け口を作ってから、追いづる切りを行うことをお勧めします。追いづる切りにより、正しいつるを作り、伐倒方向をコントロールすることができます。

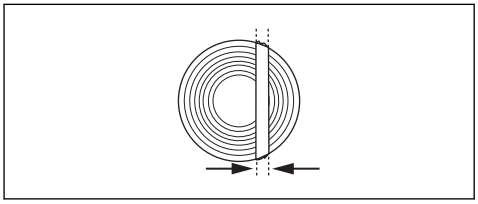
警告： 木の直径がガイドバーの長さの 2 倍を超える場合は、伐倒しないでください。これには、特別なトレーニングが必要です。

つる

木の伐倒において最も重要な手順は、つるを適切に作ることです。正しいつるであれば伐倒方向をコントロールでき、伐倒手順の安全を確保できます。

つるの太さは、木の直径の 10 %以上である必要があります。

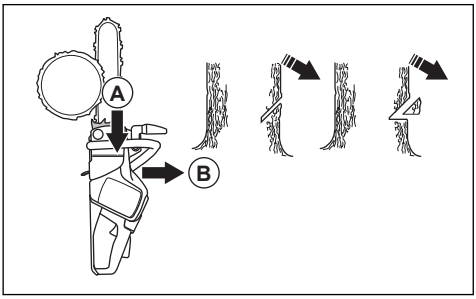
警告： つるが間違っているか細すぎると、伐倒方向をコントロールできません。



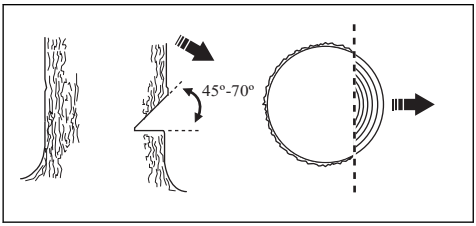
受け口を作る方法

1. 受け口を作ります。受け口は木の直径の 1/4 に当たる深さになるようにします。上切り口と下切り口の角度は 45º になるようにします。
   a) 最初に上切り口を作ります。本製品の伐倒方向マーク(A)と木の伐倒方向(B)を合わせます。本製品の後ろに立ち、木が右側に来るようにします。引き切りで切断します。

b) 下切り口を作ります。下切り口の終端が上切り口の終端と同じ位置になるようにします。

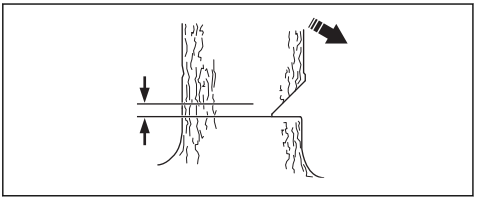


2. 受け口線が完全に水平で、伐倒方向に対して直角（90°）であることを確認してください。受け口線は、2 つの受け口が接触するポイントを通ります。

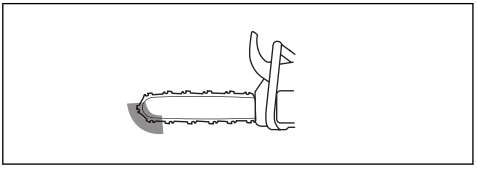


追いづる切りを行うには

追い口は、受け口の少し上に作る必要があります。

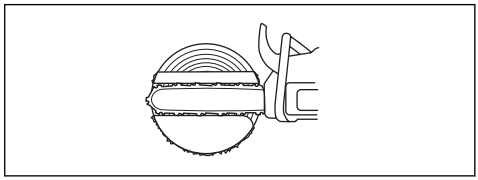


警告： ガイドバー先端を使用して切断するときは注意してください。突っ込み切りをするときは、ガイドバー先端の下部を使用して切断を開始します。

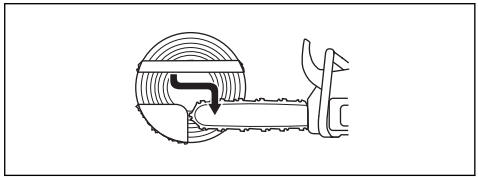


1. 切断に使用できる長さが木の直径より長い場合は、以下の手順（a-d）に従ってください。

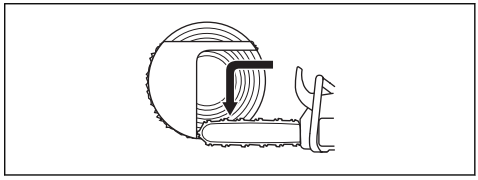
a) 幹にまっすぐに突っ込み切りし、つるを完成させます。



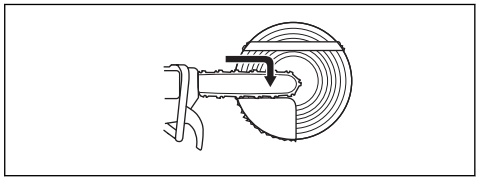
b) 幹の 1/3 が残るまで引き切りで切断します。
c) ガイドバーを 5～10 cm/2～4 インチ後方に引きます。
d) 幹の残りを切断して、5～10 cm/2～4 インチ幅の後ろづるを完成させます。



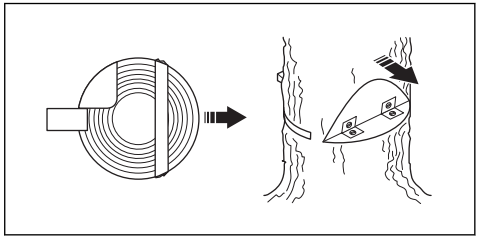
2. 切断に使用できる長さが木の直径より短い場合は、以下の手順（a-d）を実行します。
   a) 幹にまっすぐに突っ込み切りします。突っ込み切りは、木の直径の 3/5 に及ぶ必要があります。
   b) 引き切りで幹の残りの部分を切断します。



   c) 木の反対側から幹にまっすぐに切り込み、つるを完成させます。
   d) 幹の 1/3 が残るまで押し切りすると、後ろづるが完成します。



3. 切り口の真後ろからクサビを打ち込みます。



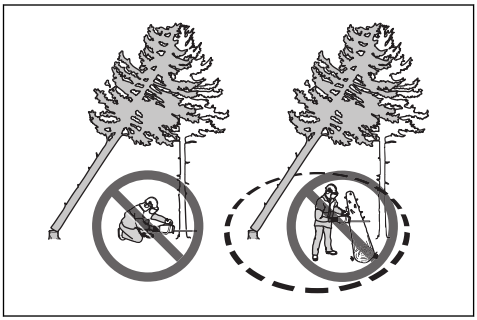
4. つるを切り落として、木を倒します。

注記： 木が倒れない場合は、倒れるまでクサビを打ち込みます。

5. 木が倒れ始めたら、退避路で、木から離れます。木から 5 m/15 フィート以上離れてください。

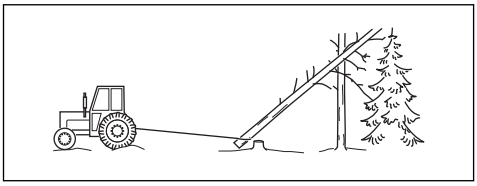
引っかかった木を外すには

警告： 他の木に倒れかかった木を外す作業は非常に危険で、事故の確率も高くなります。危険ゾーンに入らないようにして、他の木に倒れかかった木を倒そうとしないでください。

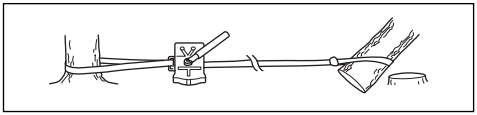


次のいずれかのウインチを使用すると最も安全です。

- ウインチ付きトラクター

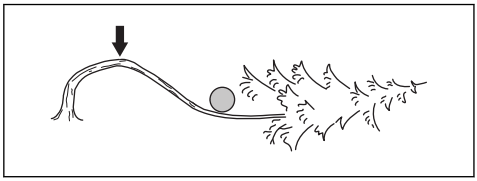


- 携帯ウインチ



張力のある木や枝の鋸断

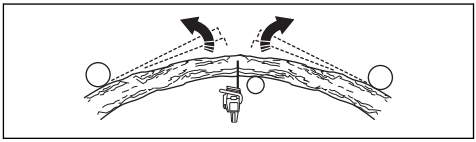
1. 木や枝にどのように張力がかかっているかを調べます。
2. 張力最大点がどこにあるかを調べます。



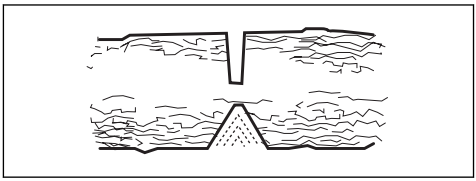
3. 張力を解放する最も安全な手順を調べます。

注記： 本製品ではなく、ウィンチを使用するほうが安全な場合があります。

4. 張力が解放されたときに、木や枝が当たらない位置に立ちます。



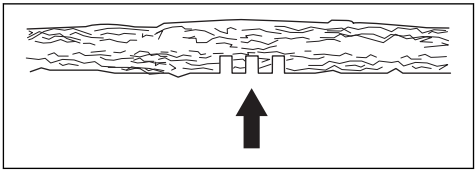
5. 張力を弱めるには、十分な深さの切り口を複数作る必要があります。張力最大点の真上または近くを切断します。張力最大点で木または枝を折ります。



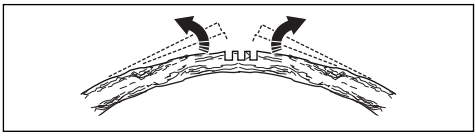
警告： 張力のある木や枝は、絶対に 1 度で切り倒そうとしないでください。

警告： 張力のある木を切断するときは十分注意してください。木を切断する前後に木がすばやく動く危険があります。不適切な位置にいる場合、または誤った場所を切断した場合、重傷を負うおそれがあります。

6. 木や枝を切断しなくてはならない場合は、約 2.5 cm 間隔で約 5 cm の深さの切れ込みを 2、3 箇所入れます。



7. 木や枝の屈曲や張力が解放されるまで、木を切断します。



8. 張力が解放されてから、屈曲の反対側から木／枝を切断します。

メンテナンス

はじめに

警告： 本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

メンテナンスのスケジュール

警告： メンテナンスを実行する前にバッテリーを外してください。

注記： Husqvarna では、専用の洗浄剤の使用をお勧めします。詳細については、Husqvarna サービス販売店までお問い合わせください。

本製品に必要なメンテナンス手順のリストは以下のとおりです。メンテナンススケジュールで指定されているメンテナンスに加えて、Husqvarna サービス販売店に製品の整備を定期的に依頼してください。整備間隔については、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

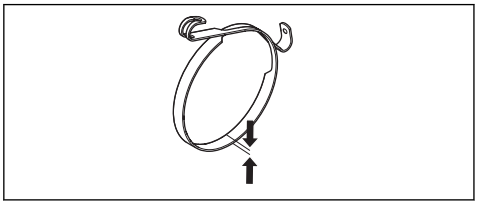
メンテナンス	毎回	毎週	毎月
本製品の外部部品とクラッチカバーの後ろのすべての部分を清掃します。湿らせた布と Husqvarna 推奨の洗浄剤を使用してください。	X		
吸気口と吸気口カバーを清掃します。柔らかいブラシや Husqvarna 推奨の洗浄剤を使用してください。手順については、*冷却システムのクリーニング方法 27 ページ*を参照してください。	X		
チェンブレーキが安全に作動することを確認します。手順については、*ブレーキトリガーの点検方法 26 ページ*を参照してください。	X		
ON/OFF ボタンが正常に作動することを確認します。手順については、*ユーザーインターフェイスの機能のチェック 27 ページ*を参照してください。	X		
パワートリガーとパワートリガーのロック機能が、安全面から見て正しく作動することを確認します。手順については、*パワートリガーロックの点検 26 ページ*を参照してください。	X		
チェンキャッチャーに損傷がないことを確認します。手順については、*チェンキャッチャーの点検方法 26 ページ*を参照してください。必要に応じて交換します。	X		
ガイドバーを清掃します。バーの溝を清掃し、ガイドバーの潤滑孔に詰まりがないことを確認します。均一に摩耗するように、ガイドバーを回転させます。手順については、*ガイドバーを点検するには 31 ページ*を参照してください。	X		
オイルポンプをテストします。ガイドバーとソーチェンが十分に潤滑されていることを確認します。手順については、*チェンオイルの流量調節 32 ページ*を参照してください。	X		
ソーチェンに摩耗や亀裂がないかを点検します。手順については、*カッティング装置の点検 31 ページ*を参照してください。	X		
ソーチェンを目立てします。Husqvarna 推奨のヤスリと目立てゲージを使用してください。手順については、*ソーチェンを目立てするには 27 ページ*を参照してください。	X		
ソーチェンの張りを調整します。手順については、*ソーチェンの張りの調整（バーボルト使用）29 ページ*を参照してください。	X		
外側のネジとナットが確実に締められていることを確認します。		X	
ガイドバーに摩耗や亀裂がないかを点検します。ノーズスプロケットを点検します。ガイドバーのバリ取りをします。ガイドバーの縁からバリを取り除きます。平ヤスリを使用してください。手順については、*ガイドバーを点検するには 31 ページ*を参照してください。		X	
チェンドライブスプロケットに摩耗がないかを点検します。手順については、*リムスプロケットの点検方法 31 ページ*を参照してください。必要に応じて交換します。		X	

メンテナンス	毎回	毎週	毎月
バッテリーに損傷がないかを点検します。バッテリーリリースボタンが正常に作動し、本製品にバッテリーをロックしていることを確認します。		X	
クラッチドラムベアリングを潤滑します。高品質のベアリンググリースを使用してください。		X	
チェンオイルタンクを清掃します。糸くずの出ない布を使用してください。			X
チェンオイルフィルターを点検します。チェンオイルフィルターに詰まりがなく、オイルタンク内で自由に動くことを確認します。			X
チェンオイルタンクからオイルを排出します。チェンオイルタンクに新しいチェンオイルを補充します。最大の保護性能を発揮する、Husqvarna チェンオイルの使用をお勧めします。手順については、*正しいチェンオイルの使用方法 14 ページ*を参照してください。			X
クラッチ、クラッチスプリング、クラッチドラム、クラッチドラムベアリングに損傷や摩耗がないか点検します。クラッチスプリングに損傷がないことを確認します。			X
バッテリーホルダー、コネクター、冷却スロットを清掃します。柔らかいブラシを使用してください。バッテリーホルダーのコネクターを点検します。金属表面に損傷がないことを確認します。手順については、*バッテリーとバッテリーホルダーの点検方法 27 ページ*を参照してください。			X
バッテリー、コネクター、冷却スロットを清掃します。柔らかいブラシを使用してください。バッテリーのコネクターを点検します。金属表面に損傷がないことを確認します。手順については、*バッテリーとバッテリーホルダーの点検方法 27 ページ*を参照してください。			X
バッテリー充電器、コネクター、冷却スロットを清掃します。柔らかいブラシを使用してください。バッテリー充電器のコネクターを点検します。金属表面に損傷がないことを確認します。			X
ブレーキバンドに損傷や摩耗がないかを点検します。*ブレーキバンドの点検方法 25 ページ*を参照してください。必要に応じて、Husqvarna サービス販売店に交換を依頼してください。			X
チェンドライブスプロケットを交換します。手順については、*リムスプロケットの点検方法 31 ページ*を参照してください。			X

製品の安全装置のメンテナンスと点検

ブレーキバンドの点検方法

1. ブラシを使用して、チェンブレーキとクラッチドラムから、木くず、樹脂、汚れなどを取り除きます。汚れや摩耗により、ブレーキ機能が低下するおそれがあります。

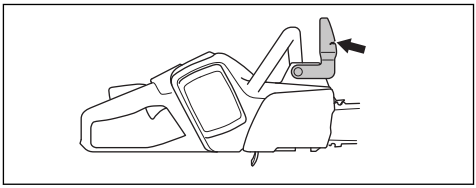


2. ブレーキバンドを点検します。ブレーキバンドは、最も薄い部分で 0.6 mm（0.024 インチ）以上の厚みが必要です。交換については、Husqvarna サービス販売店までお問い合わせください。

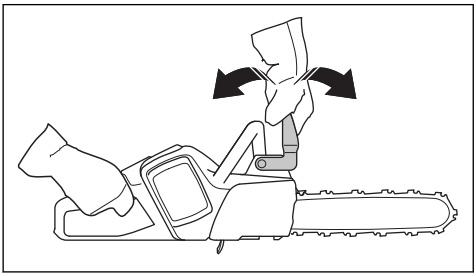
フロントハンドガードの点検方法

定期的にフロントハンドガードとイナーシャ式ブレーキを点検します。

1. フロントハンドガードに亀裂などの損傷がないことを確認します。



2. フロントハンドガードが自由に動き、製品に安全に取り付けられていることを確認します。



3. モーターのスイッチを切って、切り株または安定した場所に製品を置きます。
4. リヤハンドルを持って、フロントハンドルを放します。製品を切り株に向けて落とします。



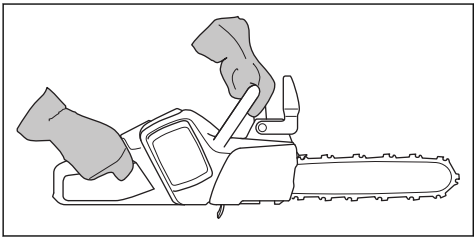
5. ガイドバーが切り株に当たると、チェンブレーキがかかることを確認します。

ブレーキトリガーの点検方法

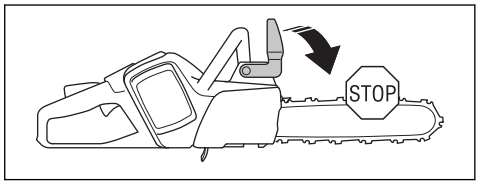
1. 本製品を水平面に置きます。
2. ON/OFF ボタンを押し続けて本製品の電源を入れます。

警告： ソーチェンが地面やその他の物に触れないよう、注意してください。

3. 親指と他の指でハンドルを包むように持ち、本製品をしっかりと持ちます。



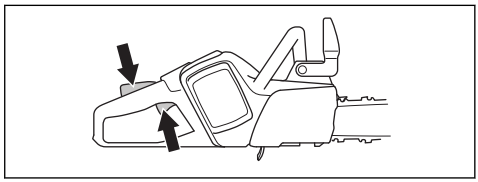
4. 最大出力にして、左手首をフロントハンドガードに対して傾けてチェンブレーキをかけます。ソーチェンがすぐに停止する必要があります。



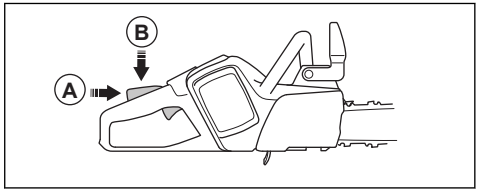
警告： このとき、フロントハンドルから手を放さないでください。

パワートリガーロックの点検

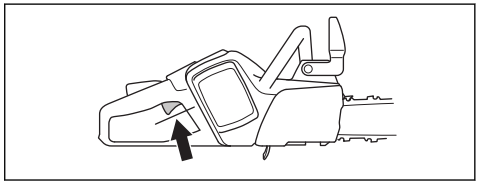
1. パワートリガーとパワートリガーロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく動作することを確認します。



2. パワートリガーロックを前方（A）に押してから、押し下げます（B）。パワートリガーロックをハンドル側に押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



3. パワートリガーロックを放すと、パワートリガーがアイドリング位置でロックされることを確認します。

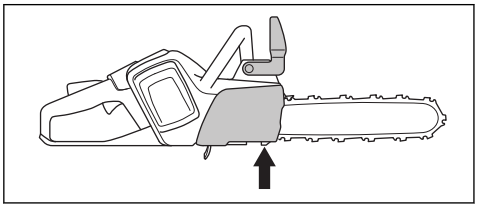


4. 本製品を始動し、最大出力にします。
5. パワートリガーを放すと、ソーチェンの回転が停止し、静止することを確認します。

チェンキャッチャーの点検方法

1. チェンキャッチャーが損傷していないことを確認します。

2. チェンキャッチャーが安定し、製品本体に取り付けられていることを確認します。



ユーザーインターフェイスの機能のチェック

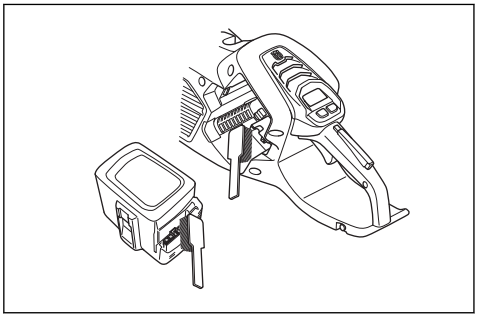
1. ON/OFF ボタンを押し続けて本製品の電源を入れます。本製品の電源が入り、ディスプレイが点灯したことを確認します。



2. ON/OFF ボタンを押し続けて本製品の電源を切ります。本製品の電源がオフになり、ディスプレイが消えたことを確認します。

バッテリーとバッテリーホルダーの点検方法

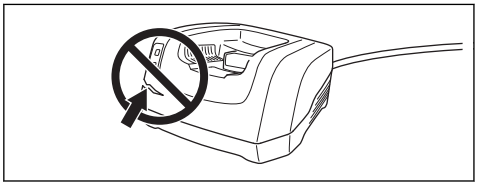
1. バッテリーとバッテリーホルダーを柔らかいブラシで掃除します。
2. 冷却スロットとバッテリーコネクターを掃除します。



3. バッテリーにひびがなく、損傷していないことを確認します。

バッテリー充電器の点検

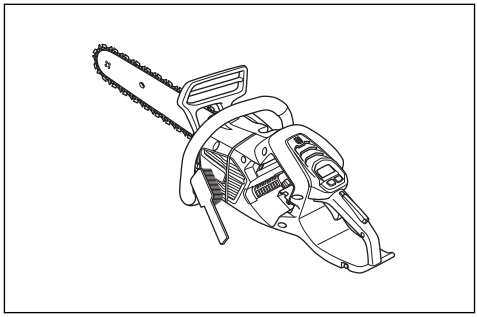
1. バッテリー充電器および電源ケーブルが破損していないことを確認してください。ヒビ割れやその他の損傷がないか調べます。



冷却システムのクリーニング方法

冷却システムにより、モーターの温度が低く保たれます。冷却システムは、本製品の左側にある空気取り込み口とモーターのファンで構成されます。

1. 必要に応じて、ブラシを使用して週に 1 回以上の頻度で冷却システムを清掃してください。



2. 冷却システムに汚れや詰まりがないことを確認してください。

注意： 冷却システムに汚れや詰まりがあると、製品が過熱する原因になります。本製品が損傷します。

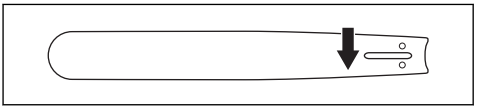
ソーチェンを目立てするには

ガイドバーとソーチェンの詳細

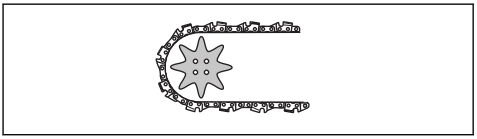
警告： ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。

摩耗または損傷があるガイドバーやソーチェンは、Husqvarna 推奨のガイドバーとソーチェンの組み合わせで交換してください。これは、製品の安全機能を維持するために必要です。推奨される交換用ガイドバーとチェンの組み合わせリストについては、「*アクセサリー 36 ページ*」を参照してください。

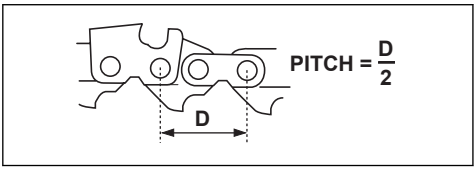
- ガイドバーの長さ（インチ／cm）。ガイドバーの長さに関する情報は、ガイドバーの後部に記載されています。



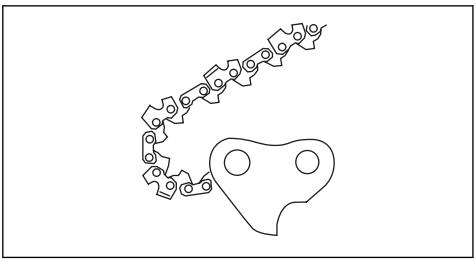
- ノーズスプロケットの歯の数（T）。



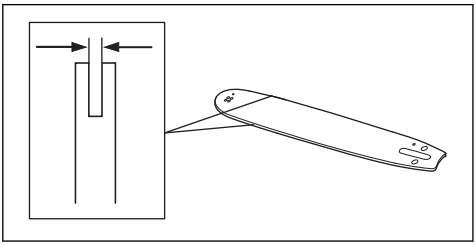
- チェンのピッチ（インチ）。ソーチェンのドライブリンク同士の間隔と、ノーズスプロケットの歯とドライブスプロケット間の間隔とが一致するようにしてください。



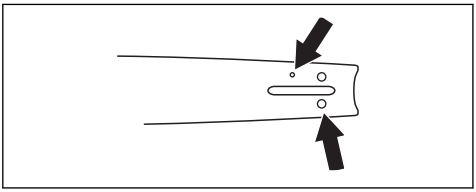
- ドライブリンクの数。ドライブリンク数は、ガイドバーの種類によって決定されます。



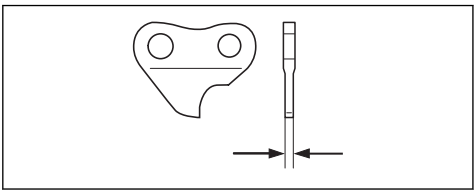
- ガイドバーのレール溝幅（インチ／mm）。ガイドバーの溝幅は、チェンドライブリンクの幅と同じにする必要があります。



- チェンオイル孔とチェンテンショナ孔。ガイドバーは製品と一致する必要があります。



- ドライブリンクの幅（mm／インチ）。

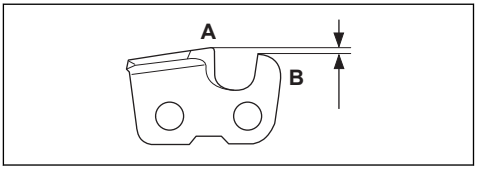


カッターの目立て方法に関する一般情報

刃先が丸くなったソーチェンは使用しないでください。ソーチェンの刃先が丸くなると、ガイドバーを木に押し付けるためにより大きな力が必要になり、エンジンに不要なストレスがかかります。刃先が丸くなったソーチェンを使用すると、チェンソーの寿命が短くなるおそれがあります。ソーチェンの刃先が極度に丸くなると、木くずではなく、細かい木粉だけが排出されます。

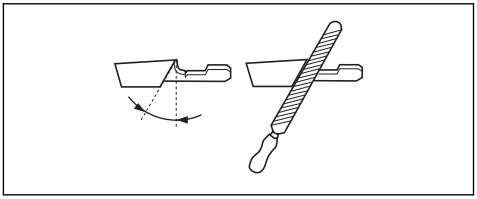
鋭いソーチェンを使用すると、抵抗なく木に切り込むことができ、長く厚い切りくずが出ます。

刃（A）とデプスゲージ（B）は、ソーチェンの木を切る部分（カッター）になります。刃とデプスゲージの高さの差が切断深度（デプスゲージ設定）になります。

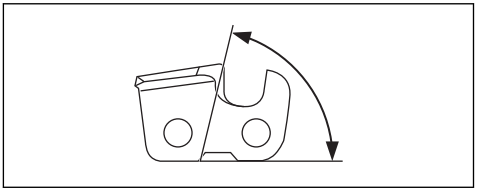


刃を目立てするときは、次のことを考慮してください。

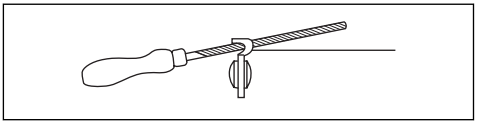
- 目立て角度。



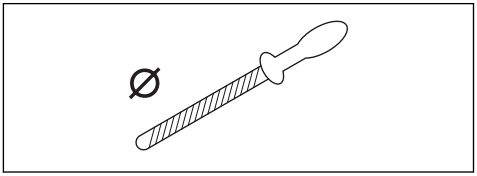
- 切削角度。



- ヤスリの位置。



- 丸ヤスリの直径。



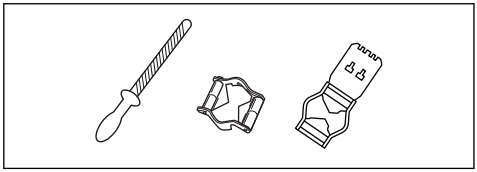
ソーチェンの目立てを正しく行うには、適切な装置を使用する必要があります。Husqvarna 推奨の目立てゲージを使用してください。最高の切削性能を得ることができ、キックバックの危険も最小限に抑えられます。

警告： 目立て手順に従わないと、キックバックの力が大きくなります。

注記： ソーチェンの目立てに関する詳細は、*ソーチェンを目立てするには 27 ページ*を参照してください。

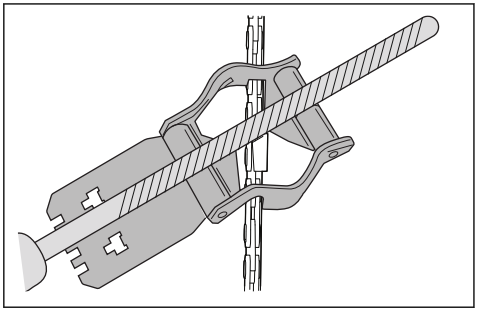
刃の目立て方法

1. 丸ヤスリと目立てゲージを使用して刃を目立てします。



注記： Husqvarna が推奨するヤスリとゲージについては、*アクセサリー 36 ページ*を参照してください。

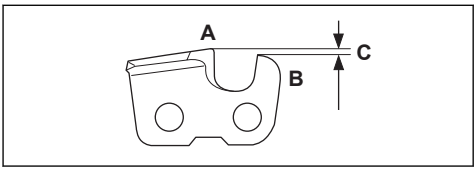
2. 目立てゲージを刃に正しく当てます。目立てゲージに付属している説明書を参照してください。
3. ヤスリを刃の内側から外側に動かします。引くときは力を抜いてください。



4. すべての刃の片側にヤスリをかけます。
5. 本製品をひっくり返して、反対側の刃にヤスリをかけます。
6. すべての刃が同じ長さであることを確認してください。

デプスゲージ設定の調整方法に関する一般情報

刃（A）の目立てを行うと、デプスゲージ設定（C）が低くなります。切断性能を最良の状態に保つには、推奨されるデプスゲージ設定に達するまで、デプスゲージ（B）に合わせてヤスリをかける必要があります。お使いのソーチェンに適した正しいデプスゲージ設定について詳しくは、「*アクセサリー 36 ページ*」を参照してください。

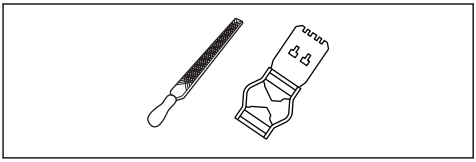


警告： デプスゲージの設定が高すぎると、キックバック発生の危険性が高まります。

デプスゲージの設定を調整するには

デプスゲージ設定の調整、または刃の目立てを行う前に、*刃の目立て方法 29 ページ*で手順を参照してください。デプスゲージ設定の調整は、刃の目立てを 3 回行うごとに 1 回の割合で行うことを推奨します。

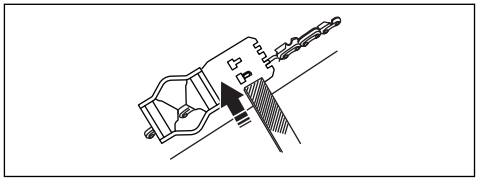
デプスゲージの設定を正しく行い、デプスゲージの角度を調整するために、デプスゲージツールの使用を推奨します。



1. 平ヤスリとデプスゲージツールを使用して、デプスゲージ設定を調整します。必ず Husqvarna 推奨のデプスゲージツールを使用して、デプスゲージの設定を正しく行い、デプスゲージの角度を調整してください。
2. デプスゲージツールをソーチェンに置きます。

注記： デプスゲージツールの使用方法については、ツールのパッケージを参照してください。

3. 平ヤスリで、デプスゲージツールから突き出たデプスゲージ部分にヤスリをかけます。

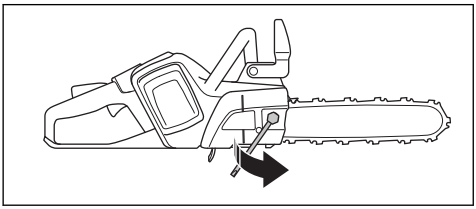


ソーチェンの張りの調整（バーボルト使用）

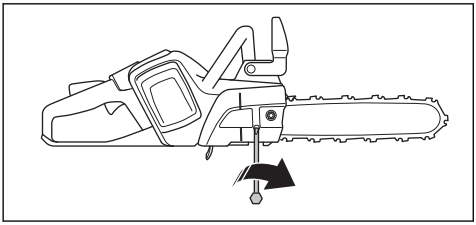
警告： ソーチェンに適切な張りがないとガイドバーから外れることがあり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

ソーチェンは、使用するにつれて長くなります。ソーチェンは定期的に調整してください。

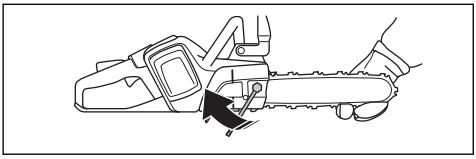
1. ドライブスプロケットカバーを保持するバーナットを緩めます。コンビレンチを使用してください。



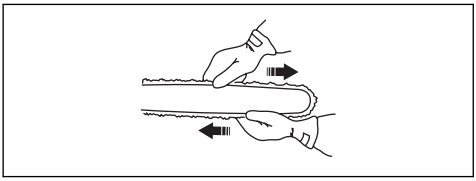
2. ガイドバーの前を持ち上げて、チェン張りネジを回します。コンビレンチを使用してください。
3. ガイドバーにソーチェンをしっかり取り付けます。



4. コンビネーションレンチを使用してバーナットを締め込むと同時にガイドバーの前方を持ち上げます。



5. ソーチェンを手で自由に回せること、ガイドバーの下側にたるみがないことを確認してください。



注記： 本製品のチェンの張りネジの位置については、*製品の概要 2 ページ*を参照してください。

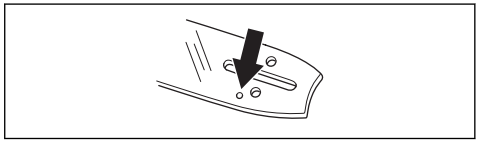
ソーチェンの潤滑状態を点検するには

バッテリー充電 3 回ごとにソーチェンの潤滑状態を点検します。

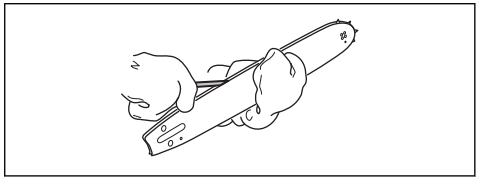
1. 本製品を始動し、3/4 の出力で運転します。色が薄い場所の上、約 20 cm（8 インチ）の高さでバーを保持します。
2. ソーチェンの潤滑状態が良好な場合、約 1 分後に透明なオイルの線が確認できます。



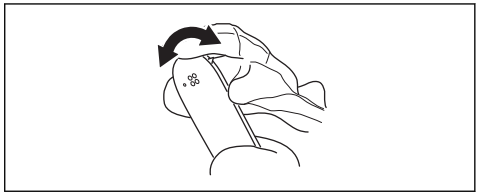
3. ソーチェンの潤滑状態が不良な場合、次のことを点検してください。
   a) ガイドバーのオイル孔が詰まっていないかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



   b) ガイドバーの端にある溝が汚れていないかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



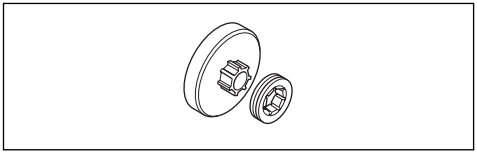
   c) ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転するか、またスプロケットのオイル孔が詰まっていないかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。



4. 上記の手順を実行してもソーチェンの潤滑状態が改善しない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

リムスプロケットの点検方法

クラッチドラムには、交換可能なリムスプロケットが装着されています。



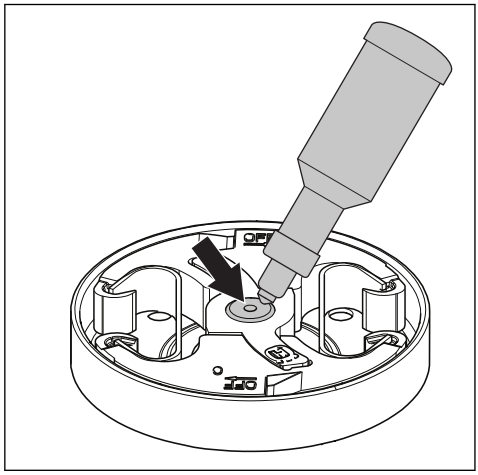
- リムスプロケットが摩耗していないことを確認してください。リムスプロケットが摩耗している場合は、最寄りの Husqvarna 販売店にご相談ください。

ニードルベアリングの潤滑

1. フロントハンドガードを後方に引いて、チェンブレーキを解除します。
2. バーナットを緩めて、クラッチカバーを取り外します。

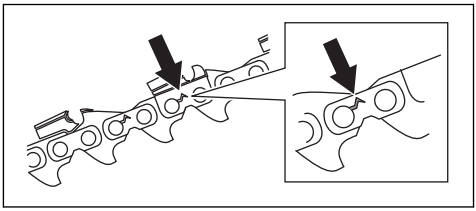
注記： 一部のモデルには、バーナットが 1 つしかありません。

3. クラッチドラムを上にして、安定した場所に製品を置きます。
4. Husqvarna グリースガンでニードルベアリングを潤滑します。グリースの再充填には、高品質のベアリンググリースを使用してください。

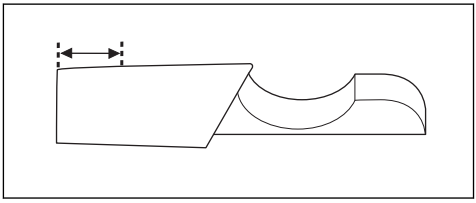


カッティング装置の点検

1. リベットやリンクに亀裂がないこと、リベットが緩んでいないことを確認します。必要に応じて交換します。

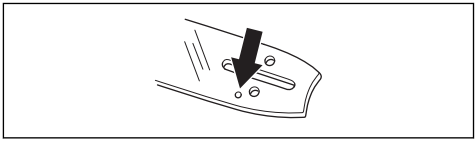


2. ソーチェンが簡単に曲がることを確認します。曲がらない場合はソーチェンを交換します。
3. リベットやリンクが摩耗していないかどうか、ソーチェンを新しいソーチェンと比べます。
4. 刃の最長の部分が 4 mm（0.16 インチ）未満の場合、ソーチェンを交換してください。カッターに亀裂がある場合も、ソーチェンを交換してください。

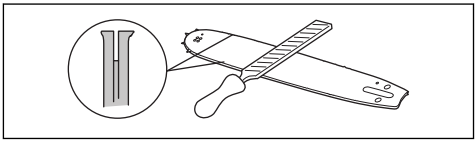


ガイドバーを点検するには

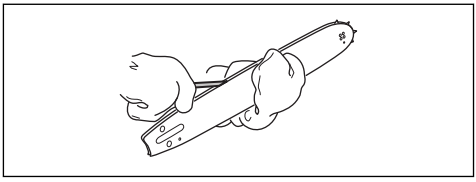
1. オイル孔に詰まりがないことを確認してください。詰まりがある場合は洗浄します。



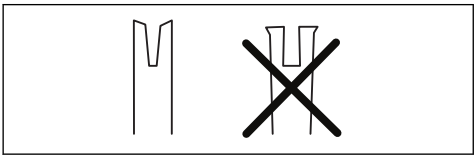
2. ガイドバーの縁にバリがないかどうかを調べます。ヤスリを使用してバリを除去します。



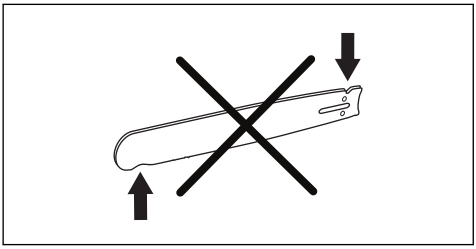
3. ガイドバーの溝を清掃します。



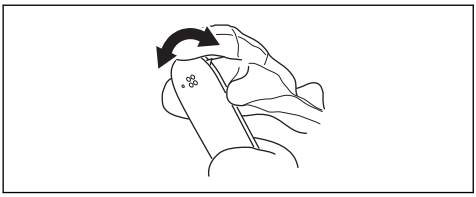
4. ガイドバーの溝に摩耗がないか調べます。摩耗がある場合は、ガイドバーを交換します。



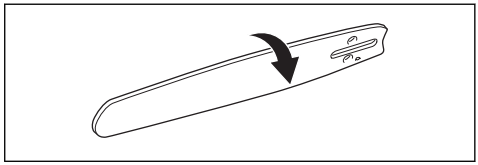
5. ガイドバー先端が粗くなっていないか、摩耗がひどくないか調べます。



6. ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転することと、スプロケットのオイル孔が詰まっていないかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。



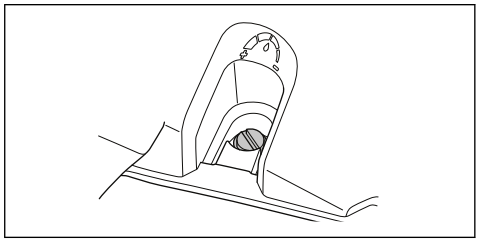
7. 寿命を延ばすために、ガイドバーは毎日回転させます。



チェンオイルの流量調節

警告： オイルポンプを調整する前に、モーターを停止します。

- オイルポンプの調整ネジを回します。ドライバーまたはコンビレンチを使用してください。



a) 調整ネジを反時計方向に回すと、オイル流量が増加します。

b) 調整ネジを時計方向に回すと、オイル流量が減少します。

ユーザーインターフェイス

LED 画面	想定される障害	解決方法
警告インジケータが点滅。	チェンブレーキがかかっています。	チェンブレーキを解除します。
	温度範囲外です。	本製品を冷まします。
	過負荷。ソーチェンが動きません。	ソーチェンを緩めます。
	ON/OFF ボタンとパワートリガーを同時に押します。	パワートリガーを放し、本製品を始動します。
[SavE]ボタンを押してハンドル加熱機能を作動させると、ハンドル加熱インジケータと警告インジケータが点滅する。	ハンドル加熱機能のエラー。	本製品の電源を切ります。本製品をスイッチオンします。それでもハンドル加熱機能が正常に動作しない場合は、Husqvarna サービス販売店にご相談ください。
緑色の LED が点滅している。	バッテリーの電圧が下がっています。	バッテリーを充電してください。
警告インジケータが点灯している。	整備が必要です。	最寄りの Husqvarna サービス販売店にお問い合わせください。

注記： バッテリーやバッテリー充電器のトラブルシューティングについては、バッテリーまたはバッテリー充電器の取扱説明書を参照してください。

バッテリー

40-B220X, 40-B330X [2]		
症状	**原因**	**対応措置**
バッテリーエラーインジケータが点滅する。	バッテリーが空です。	バッテリーを充電してください。
	作業負荷が高く、さらにバッテリー温度が非常に低くなっています。	バッテリーを温めます。たとえば、屋内に移動するか、バッテリーが温まるまで低速で作業します。
	バッテリーが動作していません。バッテリーの動作範囲が限界に達しています。	本製品からバッテリーを外します。バッテリーを放置してから、バッテリーインジケータボタンを押します。
バッテリー温度インジケータが点灯している。	バッテリーの温度が低すぎるかまたは高すぎるため、使用できません。	バッテリーは周囲温度 -10 ～ 40 °C（14 ～ 104 °F）の場所に保管してください。バッテリーの温度が適切になると、使用できるようになります。
バッテリー温度インジケータが点滅する。	バッテリーが温度上限に近づいています。	速度や作業負荷を低減します。最適な性能を得るために、バッテリーは +10 °C（50 °F）～ +30 °C（86 °F）の間の推奨温度に保ってください。

[2] トラブルシューティングは、他のバッテリーモデルでは異なる場合があります。バッテリーの使用方法については、バッテリーの取扱説明書を参照してください。認可された Husqvarna のバッテリーのみを使用してください。

バッテリーが充電器に入っているときに、バッテリー温度インジケータが点灯する。	動作温度外です。バッテリーの温度が低すぎるかまたは高すぎるため、充電できません。	バッテリーの温度が下がるまで待つか、屋内に入れて温度を上げます。バッテリーの温度が適切になると、充電できるようになります。充電器は、必ず、周囲の温度が 5 ～ 40 °C（41 ～ 104 °F）の場所で使用してください。充電器は日光の当たらない場所に保管してください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
バッテリーエラーインジケータが点灯する。	バッテリーに重大なエラーが発生しています。	販売店にお問い合わせください。

バッテリー充電器

40-C750X [3]		
症状	**想定される障害**	**可能な手順**
充電器の充電インジケータが黄色に点灯している。 バッテリーエラーインジケータが点滅しているか、またはバッテリー温度インジケータが点灯している。	動作温度外です。バッテリーの温度が低すぎるかまたは高すぎるため、使用または充電できません。	バッテリーの温度が高すぎる場合は、充電器に接続したままにしてください。充電器の内蔵ファンにより、バッテリーの温度が低下します。バッテリーが推奨温度になると、充電が自動的に開始されます。 バッテリーの温度が低すぎる場合は、屋内に移動してください。バッテリーが推奨温度になると、充電が続行します。 動作時の温度範囲を順守してください。バッテリー充電器の取扱説明書を参照してください。充電器は日光の当たらない場所に保管してください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
充電器の充電インジケータが黄色に点灯している。バッテリーのバッテリーエラーインジケータが点灯している。	バッテリーに重大なエラーが発生しています。	販売店にお問い合わせください。
充電器の充電インジケーターが赤色に点灯している。	充電器に重大なエラーが発生しています。	販売店にお問い合わせください。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

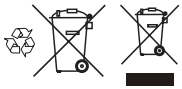
- 同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。
- 本製品を発送する前に、危険物に関して特別な訓練を受けた担当者にご相談ください。該当するすべての国内規制に従ってください。
- バッテリーを梱包するときは、露出している端子にテープを貼ってください。バッテリーを固定し、動かないように梱包してください。
- 保管するときや搬送時はバッテリーを外してください。
- バッテリーとバッテリー充電器は、乾燥して湿気や霜がない場所に置いてください。
- 静電気が発生する可能性のある場所に本製品を保管しないでください。バッテリーは金属製の箱に保管しないでください。

[3] トラブルシューティングは、他のバッテリー充電器モデルでは異なる場合があります。バッテリー充電器の使用方法については、バッテリー充電器の取扱説明書を参照してください。認可された Husqvarna のバッテリー充電器のみを使用してください。

- バッテリーは温度が 5～25°C（41～77°F）の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は温度が 5～45°C（41～113°F）の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は、周囲温度が 5°C ～ 40°C の場合にのみ使用してください。
- バッテリーを長期間保管するときは、充電量を 30～50 %にしてください。
- バッテリー充電器は、密閉した乾いた場所に保管してください。
- バッテリーの保管中は、バッテリー充電器から遠ざけてください。子供や許可されていない他の人が機器に触れないようにしてください。施錠できる場所に装置を保管してください。
- 製品を長期間保管する場合は、その前に製品を清掃し、よく点検しておいてください。
- 搬送中および保管中に製品が傷ついたり損傷したりしないように、製品の移動用ガードを使用してください。
- 搬送中は製品をしっかりと固定してください。

廃棄

このマークは、本製品が家庭ゴミではないことを示しています。電気および電子機器向けの地域の回収システムでリサイクルしてください。これにより、廃棄物の適切な管理が可能になります。詳細については、各地域の自治体、国内の廃棄物処理サービス、販売店または小売店にお問い合わせください。有害物質が含まれている可能性があるため、不適切に廃棄すると、環境や人の健康に悪影響を及ぼす可能性があります。



注記： マークは、製品または製品の容器に表示されています。

主要諸元

主要諸元

	542i XP®	**542i XP® G**
モーター		
タイプ	BLDC（ブラシレス）36 V	BLDC（ブラシレス）36 V
機能		
低エネルギーモード	savE	savE
潤滑システム		
オイルポンプタイプ	調整式	調整式
オイルタンク容量、L/cm^2	0.18/180	0.18/180
質量		
チェンソー（バッテリー、ガイドバー、ソーチェン未装着、チェンオイルタンクが空の状態）、kg	3.3	3.3
防水レベル		
IPX4	有	有
騒音排出 [4]		
作業者の耳における音圧レベル（L_{pA}）、dB（A）	91	91
実測音響レベル、L_{WA}、dB（A）	102	102
保証音響レベル L_{WA}、dB（A）	104	104

[4] EN 62841-4-1 に基づいて測定。報告データによる音圧レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は 2 dB（A）です。報告データによる音響レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は 2 dB（A）です。

	542i XP®	542i XP® G
ハンドルの振動レベル（a_{hv}） [5]		
フロントハンドル、m/s^2	4.0	4.0
リヤハンドル、m/s^2	4.4	4.4
反復衝撃振動 [6]		
反復衝撃振動放出（p_F）、m/s^2	145	145
ソーチェン／ガイドバー		
推奨バー長さ、インチ／cm	12～16/30～40	12～16/30～40
有効切断長さ、インチ／cm	11～15/28～38	11～15/28～38
ドライブスプロケットの種類／歯数	SM7:.325 インチ／7	SM7:.325 インチ／7
最大チェン速度／（savE）、m/s	24（18）	24（18）
Bluetooth® の無線周波数データ		
周波数帯、GHz	2.4～2.4835	2.4～2.4835
出力電力、最大 dBm	0	0

騒音と振動に関する公表値

これらの公表値は、上述の指令または標準に基づいた実験室での型式試験で取得されたものであり、同じ指令または標準に基づいて試験を行った他の製品の公表値との比較に適したものです。これらの公表値は予備リスク評価に使用できますが、個々の作業現場での測定値は、公表値よりも高くなる可能性があります。個々のユーザーの実際の暴露値および受ける障害のリスクは、ユーザーが行う作業、製品で処理する素材、ユーザーの暴露時間および健康状態、製品の状態に応じて異なります。

アクセサリー

ガイドバーとソーチェンの組み合わせ

Husqvarna 542i XP®, 542i XP® G の使用が認可されているカッティングアタッチメントは次のとおりです。

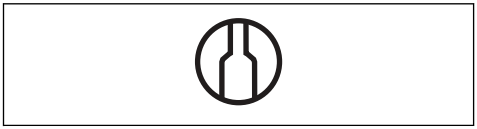
ガイドバー				ソーチェン		
長さ、インチ	**チェンピッチ、インチ**	**ゲージ、mm**	**最大ノーズ半径**	**タイプ**	**長さ、ドライブリンク（数）**	**低キックバック**
13	0.325	1.3	11T	Husqvarna SP33G	56	はい
15					64	
12	0.325 ミニ	1.1	8T	Husqvarna SP21G	51	はい
14					59	
16					64	

[5] EN 62841-4-1 に基づいて測定。報告データによる振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は 1.5 m/s^2 です。

[6] EN ISO 5349-3 に基づく反復衝撃振動からの加速度のピーク振幅の平均値。不確かさ（K_p）:70 m/s^2。本マニュアルの発行時点では、このデータの暴露限度はありません。

ピクセル

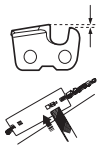
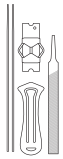
ピクセルは、より軽量なガイドバーとソーチェンの組み合わせで、使用時に狭い幅をカッティングすることでエネルギー効率が高くなるように指定されています。これらの利点を得るには、ガイドバーとソーチェンの両方がピクセルである必要があります。ピクセルカッティング装置には、このマークが付いています。



目立て用具と目立て角度

Husqvarna の目立てゲージを使用すると、正しい目立て角度が分かります。ソーチェンの切れ味を回復させるには、常に Husqvarna の目立てゲージを使用することを推奨します。部品番号を次の表に示します。

お使いの製品のソーチェンがわからない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

							
SP21G	**5/32 インチ／4.0 mm**	**60°**	**30°**	**0°**	**0.025 インチ／0.65 mm**	**5950046-01**	**5950047-01**
SP33G	**3/16 インチ／4.8 mm**	**60°**	**30°**	**0°**	**0.025 インチ／0.65 mm**	**5869334-01**	**5869384-01**

認可されたバッテリー

バッテリー	**BLi200X**	**BLi300**	**40-B220X**	**40-B330X**
タイプ	リチウムイオン	リチウムイオン	リチウムイオン	リチウムイオン
バッテリー容量（Ah）	5.2	9.4	6.0	9.0
公称電圧、V	36	36	36	36
質量、kg	1.4	2.0	1.4	2.0

認可されたバッテリー充電器

バッテリー充電器	**QC500**	**40-C750X**
入力電圧、V	100/240	100/240
周波数、Hz	50/60	50/60
電力、W	500	750

適合と認定

EU 適合性と認証

ここに、Husqvarna AB、SE-561 82, Huskvarna, Sweden, tel: +46-36-146500 は、Husqvarna 542i XP®, 542i XP® G が以下の EU 指令および規制の適用される要件に適合することを宣言します。2006/42/EC（機械、2027 年 1 月 19 日まで）、（EU）2023/1230（機械、2027 年 1 月 20 日以降）、2000/14/EC（屋外騒音）、2014/53/EU（無線装置）、2014/30/EU（電磁環境適合性）、2011/65/EU（有害物質の制限）。

EU 適合宣言の全文は、www.husqvarna.com/support で確認できます。製品を検索し、製品の製造日に対応する EU 適合宣言を選択してください。製造日のシリアル番号は、本製品のシリアルプレートに記載されています。

Husqvarna®

www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1147878-79

2026-11-11